



令和7年度
シラバス
～ syllabus ～

兵庫県立和田山
高等学校

目次

国語	1 ～ 10 ページ
地理歴史・公民	11 ～ 20 ページ
数学	21 ～ 30 ページ
理科	31 ～ 36 ページ
保健体育	37 ～ 41 ページ
芸術	42 ～ 49 ページ
外国語	50 ～ 54 ページ
家庭	55 ページ
情報	56 ページ
商業	57 ～ 74 ページ
家庭	75 ～ 83 ページ
理数	84 ～ 85 ページ
体育	86 ～ 90 ページ
音楽	91 ～ 92 ページ
美術	93 ページ
英語	94 ～ 99 ページ
産業社会と人間	100 ページ
総合的な探究の時間	101 ～ 106 ページ

教科	国語	年次	1 年次	系列	
科目名	現代の国語（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	1 年次全員				
学習目的	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己や社会に関わろうとする態度を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード （一部抜粋）
	1 学期	ことばをひらく 日本語を使いこなす わかりやすく説明する	- 本文の叙述を的確にとらえ、本文に即して考察する。 - 具体的な場面を通して、実用的な言葉の使いわけを理解する。 - 論理的な文章を読むことで、説明のしかたを学ぶ。		論理、自分の意見、事実、正確で整った文
	2 学期	論理を読み取る 伝えあいのレッスン 情報と向き合う	- 論理の展開を読み取るための言葉や文のつながり、対比の関係などを理解する。 - 自分の伝えたいことを相手に適切に伝え、また適切に受け止める工夫を学ぶ。 - 図表や画像と文章との関係を理解する。		論理、対比、文脈、距離感、情報化社会、図表、事実と根拠
	3 学期	他者を動かす 社会に目を向けて	- 対象者や目的を明らかにしたうえで、それらに応じて「書く」、「話す・聞く」方法を使う。 - 主張と根拠の関係をふまえながら、生きることや働くことについての考えを深める。		考えを深める、働く、自分の考え、論拠、問題提起
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 小テスト 授業内成果物		定期考査 小テスト 授業内成果物		小テスト 提出物 レポート 授業中の様子 振り返りシート
備考	授業内でiPadを使用するため、忘れずに持参すること。				

教科	国語	年次	1 年次	系列
科目名	言語文化（単位数： 2 ）			
履修条件	特になし			
対象生徒	1 年次生全員			
学習目的	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
講義の割合				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	古文の世界を楽しむ 日本語の中に生きる漢文	古典を学習する意義を知る。 古典と現代文の違いを理解し、今後の学習のポイント把握する。 先人の工夫を理解し、今後の学習のポイントを理解する。	言語文化と古文 歴史的仮名遣い
	2 学期	受け継がれる古文 故事と成語	古文と現代文を読み比べ、異なる点があるかを考える。 故事成語のもとになった話の内容を捉え、意味について理解する。	係り結び 品詞 句形
	3 学期	和歌による心の交流 読み継がれる歴史 詩歌の系譜	表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 詩歌の修辞や表現に親しむ。	修辞法 慣用句
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考查 小テスト		定期考查 小テスト レポート	ノート提出 授業中の様子 振り返りシート
備考				

教科	国語	年次	3年次	系列	
科目名	論理国語 （単位数：4）				
履修条件	原則として現代の国語、言語文化（１年次）文学国語（２年次）の単位を修得した者。				
対象生徒	・四年生制学、短期大学、医療系専門学校へ進学希望で学科試験に国語が必要となる者。 ・学科試験に国語が必要となる官公庁（公務員）受験者。				
学習目的	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を身につけることを目指す。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク 実習・実験 <u>レポート作成</u> その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	論理を培う	論理とはなにか読み取る 具体と抽象の関係	論理的 接続詞 具体例	
	2学期	論理を活用する	対比をとらえる 主張をつかむ 現代を考える	文章の比較 主張と抽象	
	3学期	論理的に書く	論理的に書く レポートを書く	情報の整理、分類	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	小テスト 定期考査		定期考査	小レポート 提出物 振り返りシート	
備考					

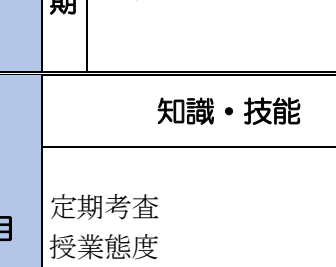
教科	国語	年次	2年次	系列	
科目名	文学国語（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次全員				
学習目的	現代の国語、言語文化を踏まえた上で、更に難易度の高い文章を読解する力を育てる。文学的文章の比べ読みなどを通して、多角的に読み込む力を育てる。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学 期	随想・文学	随想の特徴に注意して読解できるようにする。 身近な話題の中にも筆者独特の感じ方・考え方があることを読み取る。		読解、心理描写
		小説・現代			
		言語活動			
	2 学 期	小説・近代	近代の名作文学の文体を読み味わう。 小説のテーマを読み取る力を身につける。		小説のテーマ、各国の言語文化
		評論・言語			
言語活動					
3 学 期	随想・評論	同じテーマの文章を読み比べ、自分の考えを持つ。 話し合いを通じて、他の人の考えを把握し、批評しあう中で考えを深める。		話し合い、読み比べ	
	社会・平和				
	言語活動・読み比べて考える				
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト レポート		定期考査 小テスト レポート	小テスト ノート提出 レポート 授業中の様子 振り返りシート	
備考					

教科	国語	年次	3 年次	系列	
科目名	文学国語（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次全員				
学習目的	2 年次の文学国語から更に難易度の高い文章を読解する力を育てる。文学的な文章の比べ読みなどを通して、多角的に読み込む力を育てる。				
講義の割合	◀ 少★多 ▶				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				

[illegible]

[illegible]

教科	国語	年次	2 年次	系列	
科目名	地域と関わる国語（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	入試で国語（現代文分野）を受験する必要がある生徒。 現代文の読解を基礎から学びたい生徒。				
学習目的	長文読解を通じ、文法や表現技法によって文章に込められた意味やニュアンスを読み取る力を育てる。また、文章読解を通じて、但馬地域に関わる課題を探る。				
講義の割合	 A horizontal double-headed arrow pointing left towards the character "少" (few) and right towards the character "多" (many). A five-pointed star is centered on the arrow.				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード（一部抜粋）	
	1 学期	論理的文章の読解 実用文書の読解 国語常識	論理的文章に込められた効果や筆者の意図を、文法や表現技法から学ぶ。	重要語、接続語、具体と抽象、指示語、対比関係	
	2 学期	論理的文章の読解 実用文書の読解 国語常識	文学的文章に込められた効果や筆者の意図を、文法や表現技法から学ぶ。	心情、比喻表現、情景描写、会話表現、小道具	
	3 学期	評論的文章の読解 実用文書の読解 国語常識 探究活動	1、2 学期学習内容の総括を行う。	朝来市、但馬、兵庫県、関西	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 小テスト レポート	小テスト 提出物 レポート 授業中の様子 振り返りシート	
備考	問題集を購入して使用する。				

教科	国語	年次	3 年次	系列
科目名	現代文探究（単位数： 2 ）			
履修条件	特になし			
対象生徒	・大学・短大・専門学校（医療系）への進学を考えている人 ・よく読書をする人 ・文章による表現力を高めたい人			
学習目的	様々な作品を読むとともに、自分で文芸作品を作成する。			
講義の割合				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	随想知識	・様々な作品を読み、理解を深める。 ・複数の作品を比較し、共通点や相違点を捉える。 ・自身の作品を作成する。	基礎力 語彙力
	2 学期	小説知識・運用	・様々な作品を読み、理解を深める。 ・複数の作品を比較し、共通点や相違点を捉える。 ・自身の作品を作成する。	読解力 語彙力
	3 学期	小説知識・運用	・文章の主題を読み取る。 ・これまでの半生を振り返る。 ・自身で主題を見つけ、作品を作成する。	表現力 語彙力
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考查 授業態度 小テスト		授業中の発表 定期考查 成果物 提出物	定期考查 成果物 提出物
備考				

教科	国語	年次	2年次・3年次	系列	
科目名	応用国語 （単位数： 2 ）				
履修条件	2年次で選択した者は3年次で履修できない				
対象生徒	・大学・短大・専門学校（医療系）への進学を考えている人 ・よく読書をする人 ・国語の知識をさらに深めたい人				
学習目的	さまざまな種類の文章を読み、考え方に触れて視野を広げる。				
講義の割合	← 少 ★ 多 →				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学 期	評論 小説 知識	・文芸作品における評論の手法を知る。 ・対象となる作品とそれに対する書評を読む。 ・複数の書評を比較し、共通点や相違点を捉える。 ・自身の書評を作成する。		基礎力 語彙力
	2 学 期	評論 小説 知識・運用	・対象となる作品とそれに対する書評を読む。 ・複数の書評を比較し、共通点や相違点を捉える。 ・文章中の根拠や引用に注目し、その信頼性を考える。 ・信頼性についての評価をまとめる。		読解力 語彙力
	3 学 期	評論 小説 知識・運用	・根拠の信頼性に注意しながら、複数の文章の主 張を読み取る。 ・主張を引用し、自身の意見を作成する。 ・書評の作成。		表現力 語彙力
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 授業態度		授業中の発表 定期考査 成果物 提出物	定期考査 成果物 提出物	
備考					

[illegible]

教科	地理歴史	年次	1 年次	系列	
科目名	歴史総合（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	1 年次全員				
学習目的	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察、構想する。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				

教科	地理歴史	年次	2 年次	系列
科目名	日本史探究（単位数： 4 ）			
履修条件	歴史総合を履修していること			
対象生徒	2 年次選択者			
学習目的	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察し、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。			
講義の割合				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	原始 古代	日本文化のあけぼの 律令国家の形成 貴族政治と国風文化	ヤマト政権 律令国家 摂関政治 武士
	2 学期	中世 近世	中世社会の成立 武家社会の成長 幕藩体制の確立 幕藩体制の展開 幕藩体制の動揺	鎌倉幕府 室町幕府 戦国大名 幕藩体制 幕政改革
	3 学期	近代 現代	近代国家の成立 2つの世界大戦とアジア 占領下の日本 高度成長の時代	明治維新 立件国家 第二次世界大戦 冷戦 ５５年体制
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査		定期考査 ノート	ノート 問題集
備考				

教科	地理歴史	年次	2年次	系列	
科目名	世界史探究 (単位数： 4)				
履修条件	歴史総合を履修していること				
対象生徒	2年次 全員				
学習目的	世界の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けて総合的に考察し、他国の伝統と文化の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
講義の割合	◀ 少 ★ 多 ▶				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 調べ学習、探究活動 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1学期	原始 古代	オリエントと地中海世界 アジア・アメリカの古代文明 東アジア世界の形成		オリエント ローマ帝国 隋・唐
	2学期	中世 近世	イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 東アジア世界の展開 近世ヨーロッパ世界の形成と発展		神聖ローマ帝国 明・清 ルネサンス 大航海時代
	3学期	近代 現代	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展 アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 2つの世界大戦 現在の世界		アメリカ独立革命 フランス革命 オスマン帝国 世界恐慌 第二次世界大戦 冷戦
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査		定期考査 ノート 発表		ノート 発表 感想用紙
備考					

教科	地理歴史	年次	3 年次	系列	
科目名	世界と日本（単位数： 4 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次 選択者				
学習目的	世界と日本の歴史に関わる諸事象について、古代から近現代までを時間的・空間的に幅広い視野から考察する。資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、歴史的な思考力を身につける。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 調べ学習、探究活動 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	古代～中世の 日本と世界	文明のおこりと日本の成立 古代国家の歩みと東アジア 武士の成長と鎌倉幕府 南北朝の争乱と室町幕府	文明、宗教 律令国家 源平の争乱 元の襲来 応仁の乱	
	2 学期	近世～近代の 日本と世界	ヨーロッパ人の来航と全国統一 江戸幕府の成立と鎖国 産業の発達と幕府政治の動き 欧米諸国のアジア進出と開国 近代国家の建設 第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本	ルネンサンス 宗教改革 戦国大名 江戸幕府 鎖国 フランス革命 明治維新 日清・日露戦争 世界恐慌	
	3 学期	現代の日本と世界	戦後の日本の民主化 国際連合と冷戦 経済の高度成長 冷戦終結後の国際社会	日本国憲法 朝鮮戦争 日米安全保障条約 ベトナム戦争 ソ連解体	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査		定期考査 ノート 発表	ノート 発表 感想用紙	
備考					

教科	地理歴史	年次	2年次・3年次	系列	
科目名	郷土研究（単位数： 2 ）				
履修条件	2年次で選択したものは3年次で履修できない				
対象生徒	2年次選択者、3年次選択者				
学習目的	・但馬を中心とした郷土に目をむけ、郷土に息吹く先人の思いを探訪し、地域の風土性に理解を深め、郷土のあり方と地域の活性化を考える力を養う。 ・地域への「誇り・愛着・自負心」を高め、連帯の心を身に着ける。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> <u>フィールドワーク</u> 実習・実験 <u>レポート作成</u> その他の特徴的な活動【 調べ学習 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	兵庫県・但馬の地誌	兵庫県の市町 観光ポスター作製 ゆるきやら作成 学校周辺探索 学校周辺の地図の作成		
	2学期	但馬の歴史・人物史 但馬紹介 観光地・グルメ・ 遺跡など	但馬の発展に貢献した但馬人 既習のもの、興味のあるものについて調べ、 発表を実施 大石りく 北垣国道・原六郎 斉藤隆夫 植村直己 森はな一『じろはったん』を読む 但馬の観光・グルメ・遺跡などで新聞作成 学校周辺の地図の作成		
	3学期	但馬の観光	但馬の地場産業 但馬の観光・町並み 現代但馬の課題		
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 レポート		定期考査 ワークシート レポート	ワークシート 振り返りシート レポート 発表	
備考					

教科	公民	年次	2 年次	系列	
科目名	公共 (単位数： 2)				
履修条件	必修科目				
対象生徒	2 年次全員				
学習目的	現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度をみにつける。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学期	公共的な空間における人間としてのあり方 公共的な空間における基本原理	現代の諸課題と倫理 民主社会の基本原則 日本社会の基本原則		環境問題 資源エネルギー問題 基本的人権 日本国憲法
	2 学期	ルールをつくり守る私たち 政治に参加する私たち	法と契約 司法参加の意義 政治参加と民主政治の課題 国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割		法・規範 契約・消費者の権利 裁判制度 選挙 安全保障
	3 学期	経済活動を行う私たち	経済のしくみと産業の変化 市場経済のしくみと金融 財政と社会保障 国際経済の動向と課題		労働者の権利 市場経済 物価 財政 租税
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査		定期考査 ワークシート		定期考査 ワークシート
備考					

[illegible]

教科	公民	年次	2年次・3年次	系列	
科目名	政治・経済 (単位数： 2)				
履修条件	2年次で選択した者は3年次で履修できない				
対象生徒	2年次選択者、3年次選択者				
学習目的	・ 現実社会の課題解決に役立つ概念や理論を理解し、資料活用の技能を身に着ける。 ・ 政治・経済に関する概念等を活用して、社会の形成者として公正に判断する力を養う。 ・ 課題を主体的に解決しようとする態度や、国民主権を担う公民としての自覚を深める。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 調べ学習 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	現代日本の政治 現代日本の経済	民主政治の基本原理 日本国憲法の基本原理 日本の政治機構 現代政治の特質 現代の資本主義経済	基本的人権 地方自治 選挙 資本主義 市場経済	
	2 学期	現代日本の諸課題 現代の国際政治	国際政治の仕組み 複雑化する国際政治と日本 国民経済と国際経済 世界経済の現状と課題	少子高齢化 持続可能性 防災 国際法 貿易	
	3 学期	国際社会の諸課題	グローバル化にともなう社会変容 地球環境と資源・エネルギー問題 国際的な経済格差の是正 イノベーションの促進と成長市場 民族問題と紛争の解決 持続可能な社会の実現	多文化共生 地球温暖化 貧困 パレスチナ問題	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査		定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート	
備考					

教科	公民	年次	3 年次	系列	
科目名	現代の探究 (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	2 年次の「公共」で身につけた知識を活用し、現代社会の諸問題を深く掘り下げて学ぶ。人間としての在り方、生き方について多様な角度から考察できるように、自らが課題を設定し課題を探究し、進路実現のために必要な能力や小論文・作文を書く能力を身に付けていく。				
講義の割合					
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 調べ学習・探究活動 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	まちづくり 地域の課題	日本の少子高齢化の現状 東京一極集中、地方の過疎化の影響 日本で暮らす外国人の現状	人口減少 過疎化問題 共生社会	
	2 学期	現代の諸課題	DXの推進やICT、IoTの利活用について 災害の歴史や、今後予想される大地震について 環境問題と生物多様性について	情報社会 防災 環境	
	3 学期	経済の活性化	キャッシュレス決済の導入促進やその影響 外国人観光客の受け入れについて	経済振興 観光	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 レポート		定期考査 レポート ワークシート	定期考査 レポート 感想用紙	
備考					

教科	数学	年次	1 年次	系列
科目名	数学 I（単位数： 3 ）			
履修条件	必修修科目			
対象生徒	1 年次全員			
学習目的	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。			
講義の割合	少 多			
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	数と式	・ 式を、目的に応じて整理したり、適切に変形したりする。 ・ 不等式の性質について理解し、解く方法を考察したり、活用したりする。	多項式の加法・減法・乗法、展開、因数分解、実数、根号を含む式の計算、1 次不等式
	2 学期	2 次関数 図形と計量	・ 2 次関数とそのグラフについて理解し、数量の関係や変化を表現し、活用できるようにする。 ・ 三角比の意味やその基本的な性質について理解し、活用して問題を解決する。	2 次関数のグラフ、最大・最小、2 次方程式、2 次不等式、三角比、正弦定理、余弦定理、三角形の面積
	3 学期	データの分析 集合と命題	・ データの傾向を数値化する。 ・ 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行う。 ・ 集合と命題に関する概念を理解する。	データの整理・代表値・散らばり・相関、仮設検定、集合、命題
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考查 单元テスト		定期考查 单元テスト	授業中の積極性、取り組み方 リフレクションシート 提出物
備考	提出物は、授業ノート、ワーク等を評価する。			

教科	数学	年次	2 年次	系列	
科目名	数学Ⅱ（単位数： 4 ）				
履修条件	数学Ⅰを履修していること				
対象生徒	2 年次選択者				
学習目的	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
講義の割合	少 ★多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式	・多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、計算をする。 ・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をする。 ・座標平面上の直線や円を方程式で表す。	整式の除法・分数式の計算、2 次方程式、高次方程式、式と証明、点と直線、円、軌跡と領域	
		2 学期	三角関数 指数関数と対数関数	・角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解する。 ・三角関数の加法定理や2 倍角の公式、三角関数の合成について理解する。 ・指数と対数を相互に関連付けて考察する。	三角関数、加法定理、指数関数、対数関数
	3 学期	微分法と積分法	・微分係数や導関数、不定積分及び定積分の意味について理解する。 ・微分と積分の関係に着目し、事象を考察する。	微分係数と導関数、導関数の応用、積分	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 単元テスト		定期考査 単元テスト	授業中の積極性、取り組み方 リフレクションシート 提出物	
備考	提出物は、授業ノート、ワーク等を評価する。				

[illegible]

教科	数学	年次	3 年次	系列	
科目名	数学 B (単位数： 2)				
履修条件	数学 I を履修していること				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				

教科	数学	年次	3 年次	系列	
科目名	数学 C (単位数： 2)				
履修条件	数学 I を履修していること				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学期	平面上のベクトル ベクトルと平面図形	- 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解する。 - ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする。		ベクトル、ベクトルの和・差・実数倍、ベクトルの成分、ベクトルの内積、位置ベクトル、ベクトルと図形
	2 学期	空間のベクトル 複素数平面	- 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解する。 - 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解する。 - ド・モアブルの定理について理解する。		空間の座標、空間のベクトル、ベクトルの内積、位置ベクトル、複素数平面、複素数の和と差、ド・モアブルの定理、複素数と平面図形
	3 学期	式と曲線 数学的な表現の工夫	放物線、楕円、双曲線が二次式で表されることが及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解する。		2 次曲線、媒介変数表示と極座標、データの表現方法の工夫、行列による表現
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 単元テスト		定期考査 単元テスト		授業中の積極性、取り組み方 リフレクションシート 提出物
備考	提出物は、授業ノート、ワーク等を評価する。				

[illegible]

[illegible]

教科	数学	年次	3年次	系列	
科目名	実用数学（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	数学が実社会でどのように使われているのか、職業と数学の内容を結びつけて、数学を多面的に捉える力を養う。数学の有用性や重要性、価値を発見するとともに、数学を自らの進路や人生に取り入れようとする態度を育てる。				
講義の割合	少★多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				

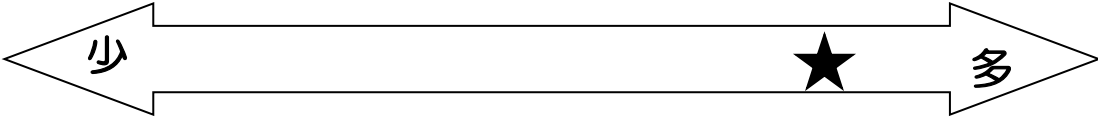
教科	数学	年次	3 年次	系列	
科目名	経済数学 (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	経済学・統計学を学ぶために必要な数学の知識・技能を身につけるようにする。数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学期	1 次関数・2 次関数 三角関数 指数関数・対数関数	- 関数や直線について学んだうえで、需要と供給の関係について考察する。 - 累乗の計算と指数法則について理解し、指数の知識を用いて、複利計算について考察する。 - 常用対数の近似計算を用いて、利子率、割引率について考察する。		1 次関数、2 次関数、2 次関数の最大・最小、三角関数、指数、指数関数とそのグラフ、対数、対数関数とそのグラフ、常用対数
	2 学期	微分と積分 数列	- 微分の知識を用いて、1 変数関数の最適化問題について考察し、解と最適値を求める。 - 等比数列の知識を用いて、複利計算について考察する。 Σ の計算をもとに、統計学に必要な共分散や相関係数について理解する。		導関数、関数の増減と極大・極小、関数の最大・最小、定積分、定積分と面積、等差数列、等比数列、いろいろな数列
	3 学期	ベクトル	- ベクトルの知識を用いて、予算制約について考察する。 - ベクトルの演算を用いて、多次元解析を体験し、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用する。		ベクトルの成分、ベクトルの内積、ベクトルの垂直、位置ベクトル
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 単元テスト		定期考査 単元テスト		授業中の積極性、取り組み方 リフレクションシート 提出物
備考	提出物は、ワーク等を評価する。				

教科	数学	年次	3年次	系列	
科目名	応用数学 (単位数： 2)				
履修条件	「数学Ⅰ・A」を履修していることが望ましい				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	身近な生活におけるデータの存在やデータ活用の有用性について理解し、目的に応じた適切なデータの収集、整理、分析に必要な技能を身につけるようにする。数学的活動をとおして、積極的に問題解決に取り組もうとする態度を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	数と式 集合と論証 2次関数 図形と計量	- 式を目的に応じて変形したり、見通しをもって取り扱ったりする。 - 身のまわりの問題について、連立方程式に表して考えたり、1次不等式を活用したりして解決する。	式の計算、実数、1次不等式、絶対値、集合と論証、2次関数、2次方程式、2次不等式、三角比	
	2学期	データの分析 場合の数と確率 図形の性質	- 代表値、分散、標準偏差、相関係数を用いて、データの相関関係について考察する。 - コンピュータを用いて確率を求め、数学と情報処理を結びつけた実践的なスキルを身につけることができる。	データの整理と分析、データの相関、数え上げの原則、順列・組合せ、確率とその基本的な法則、独立な試行と確率、条件付き確率	
	3学期	図形の性質	- 円に関する基本的な性質について理解する。 - 空間図形に関する基本的な性質について理解する。	平面図形、空間図形	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 単元テスト		定期考査 単元テスト	授業中の積極性、取り組み方 リフレクションシート 提出物	
備考	提出物は、ワーク等を評価する。				

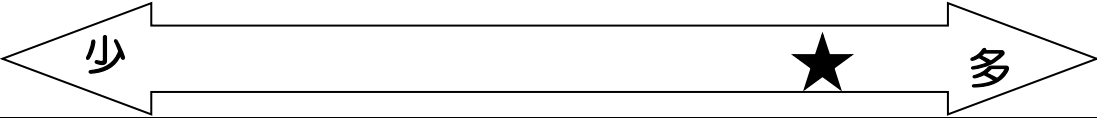
教科	理科	年次	1 年次	系列
科目名	科学と人間生活（単位数： 2 ）			
履修条件	必修科目			
対象生徒	1 年次全員			
学習目的	・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察，実験などを通して理解し，科学的な見方や考え方を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。			
講義の割合				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	第1編 物質の科学	第1章 材料とその再利用 日常生活に深くかかわっている物質として、鉄，銅，アルミニウム，プラスチックを中心に個々の性質を理解する。さらにそれらの性質に基づいた，腐食の防止やリサイクル，化学的構造を総合的に学習する。	金属、自由電子、金属結合、電解製錬、熔融塩電解、合金、プラスチック、高分子化合物、モノマー、ポリマー、3R
		第2編 生命の科学	第1章 ヒトの生命現象 遺伝子やタンパク質，血統濃度の調節、免疫、視覚器についてホルモンや白血球的作用等も含めて学習する。	遺伝子、転写、翻訳、免疫、白血球、抗体、アレルギー、ワクチン、視神経、概日リズム
	2 学期	第3編 光や熱の科学	第1章 光の性質とその利用 光の色や直進性、波としての性質を総合して定性的に学習する。	波長、直進性、偏光、屈折、臨界角、分散、回折、干渉、電磁波
	3 学期	第4編 宇宙や地球の科学	第2章 身近な自然景観と自然災害 身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、太陽の放射エネルギーによる作用や地球内部のエネルギーによる変動と関連付けて学習する。	日本列島、プレート、地震、災害、火山、景観恵みと災害、水のはたらき、自然災害、土砂災害、洪水
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 小テスト		定期考査 小テスト レポート	定期考査 授業態度 提出物の状況 レポート 小テストへの取り組み
備考	中学時代の復習をして理解しておくことが大切です。自ら取り組む姿勢を大切にして、提出物は提出期限を厳守してください。			

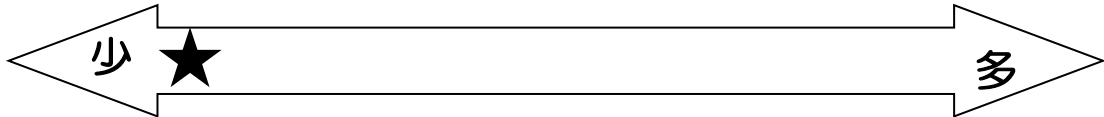
教科	理科	年次	3年次	系列	
科目名	物理基礎（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーに関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	第1章 運動とエネルギー	運動の表し方 運動の法則 仕事と力学的エネルギー	等速直線運動、、ベクトル、加速度、等加速度直線運動、自由落下、フックの法則、運動の法則、仕事の原理、力学的エネルギー	
		第2章 熱	熱とエネルギー	熱運動、絶対温度、比熱、熱力学第一法則、不可逆変化、熱機関	
	2学期	第3章 波	波の性質 音	波動、単振動、正弦波、振幅、波長、疎密波、重ね合わせの原理、定在波、音波、うなり、固有振動	
		第4章 電気	物質と電気抵抗 磁場と交流	電荷、電気素量、自由電子、半導体、電流、電圧、抵抗、オームの法則、ジュールの法則、電磁誘導、電磁波	
3学期	第5章 物理学と社会	エネルギーの利用	エネルギー保存則、再生可能エネルギー、同位体、放射性物質、		
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 小テスト レポート	定期考査 授業態度 レポート 提出物の状況	
備考	演習問題で授業内容をしっかり理解することが大切です。そのためには、自ら取り組む姿勢を大切にすることです。また、提出物は提出期限を厳守してください。				

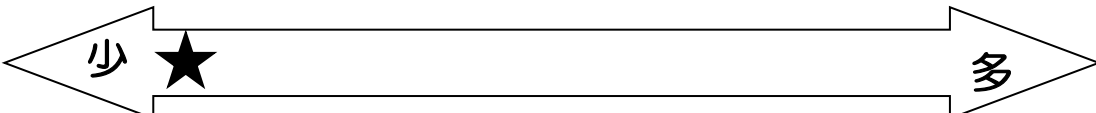
教科	理科	年次	2年次	系列	
科目名	化学基礎（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次選択者				
学習目的	・物質の成り立ちや、原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。 ・化学結合と物質の性質との関係を理解し、物質についての見方ができるようにする。 ・化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応について観察、実験などを通して探究し、化学反応に関する基本的な概念や法則を理解する。				
講義の割合	◀ 少★多 ▶				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 本格的な実験は少ないですが、 演示実験や簡単な実験も多数あります。 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	第1編 物質の構成	第1章 物質の構成 1 純物質と混合物 2 物質とその成分 3 粒子の熱運動と物質の三態 第2章 物質の構成粒子 1 原子の構造と電子配置 2 イオン 3 元素の周期表	純物質、単体、化合物 混合物、元素、同素体 物質の三態、状態変化 原子番号、質量数 原子の構造、電子殻 イオン、イオン結合	
		2学期	第1編 物質の構成 第2編 物質の変化	第3章 化学結合 1 イオン結合 2 共有結合 3 金属結合 4 物質の分類と融点 第1章 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 化学反応式と化学変化と量的関係 第2章 酸と塩基	静電気力、結晶、組成式 分子式、分子間力、共有結合、金属結合 物質質量、溶液、濃度 化学反応式、量的関係 比例計算
	3学期	第2編 物質の変化	1 酸と塩基 2 水の電離とpH 3 酸・塩基の中和と塩 第3章 酸化還元反応 1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応と人間生活	酸、塩基、電離、pH 指示薬、中和反応、塩 酸化、還元、酸化剤、還元剤、イオン化傾向 電池、	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 小テスト レポート	定期考査 授業態度 小テスト レポート	
備考	演習問題で学習内容をしっかり理解することが大切です。そのためには、自ら取り組む姿勢を大切にすることです。また、提出物は提出期限を厳守してください。				

教科	理科	年次	2年次	系列	
科目名	生物基礎（単位数： 2 ）				
履修条件	必修修科目				
対象生徒	2年次全員				
学習目的	生物学の基本的な概念・法則の理解を深め、科学的な自然観を育てる 観察・実験を通して自然を化学的に探究する能力を育てる 生物学的に探究する能力と態度を身に付ける				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	ヒトの体内環境の維持	体内での情報伝達と調節 体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	交感神経、脳、成長ホルモン、血液循環、肝臓、白血球、T細胞、アレルギー、花粉症、予防接種	
	2学期	生物の特徴 遺伝子とそのはたらき	生物の多様性と共通性 生体内の化学反応 遺伝情報	真核細胞、原核細胞、ミトコンドリア、葉緑体、ATP、呼吸、光合成、DNA、転写、翻訳	
	3学期	生物の多様性と生態系	植生とその移り変わり 植生の分布とバイオーム 生態系のバランスと保全	森林、遷移、熱帯多雨林、バイオーム、生物多様性、食物連鎖、外来生物	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 小テスト	小テスト レポート 授業中の様子 振り返りシート	
備考	特になし				

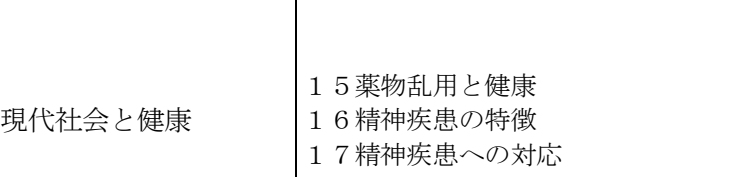
[illegible]

教科	理科	年次	3 年次	系列	
科目名	地学基礎（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				

教科	保健体育	年次	1 年次	系列	
科目名	体育（単位数： 2 ）				
履修条件	必修				
対象生徒	1 年次生全員				
学習目的	健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に応じた運動の計画を立て、生涯を通じて運動を継続する力を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技				

教科	保健体育	年次	2 年次	系列	
科目名	体育（単位数： 3 ）				
履修条件	必修				
対象生徒	2 年次生全員				
学習目的	健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に応じた運動の計画を立て、生涯を通じて運動を継続する力を養う。				
講義の割合					
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技				

教科	保健体育	年次	3 年次	系列	
科目名	体育（単位数： 2 ）				
履修条件	必修				
対象生徒	3 年次生全員				
学習目的	健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に応じた運動の計画を立て、生涯を通じて運動を継続する力を養う。				
講義の割合	◀ 少 ★ 多 ▶				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	「体づくり運動」	集団行動・新体力テスト	体育理論 1. レジャー社会 2. スポーツライフ	
		選択Ⅰ 「球技」	バスケットボール バレーボール バドミントン		
		選択Ⅱ 「球技」	ソフトボール ハンドボール 卓球		
		「体育理論」	【豊かなスポーツライフの設計】 1 生涯スポーツの見方・考え方 2 ライフスタイルに応じたスポーツ		
	2 学期	選択Ⅱ（継続） 「球技」	ソフトボール ハンドボール 卓球	体育理論 3. スポーツ振興法 4. スポーツライフ	
「陸上競技」		長距離走			
選択Ⅲ 「球技」 「ダンス」		サッカー バドミントン 現代的なリズムのダンス			
	「体育理論」	【豊かなスポーツライフの設計】 3 スポーツ推進のための施策と課題 4 スポーツで未来を創る			
3 学期	選択Ⅳ 「球技」 「ダンス」	バスケットボール バドミントン 卓球 現代的なリズムのダンス			
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実技テスト スポーツテスト レポート		ワークシート レポート	授業中の取り組む姿勢 ワークシート 振り返りシート レポート	
備考					

教科	保健体育	年次	1 年次	系列
科目名	保健（単位数： 1 ）			
履修条件	必修			
対象生徒	1 年次生全員			
学習目的	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
講義の割合				
講義以外の主な活動	問題演習グループ学習フィールドワーク実習・実験レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	現代社会と健康	1 日本における健康課題の変遷 2 健康の考え方と成り立ち 3 ヘルスプロモーションと健康に関わる健康づくり 4 健康に関する意思決定・行動選択 5 現代における感染症の問題 6 感染症の予防 7 性感染症・エイズとその予防	疾病構造 生活の質、生きがい ヘルスプロモーション 意思決定・行動選択 新興感染症・再興感染症 感染源、感染経路、免疫 性感染症、エイズ
	2 学期	現代社会と健康	8 生活習慣病の予防とその回復 9 身体活動・運動と健康 1 0 食事と健康 1 1 休養・睡眠と健康 1 2 がんの予防と回復 1 3 喫煙と健康 1 4 飲酒と健康	生活習慣病 運動、生活活動 食事のリズム レム睡眠、ノンレム睡眠 がん検診 受動喫煙、健康増進法 急性アルコール中毒
	3 学期	現代社会と健康	1 5 薬物乱用と健康 1 6 精神疾患の特徴 1 7 精神疾患への対応	大麻、依存状態 うつ病、ストレス セルフケア
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考查		定期考查 ワークシート	授業に取り組む姿勢 ワークシート
備考				

教科	保健体育	年次	2 年次	系列
科目名	保健（単位数： 1 ）			
履修条件	必修			
対象生徒	2 年次生全員			
学習目的	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
講義の割合	◀ 少多 ▶ ★			
講義以外の主な活動	問題演習グループ学習フィールドワーク実習・実験レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	安全な社会生活	事故と安全な社会、応急手当と心肺蘇生法	危険予測、率先避難者、心肺蘇生、AED、胸骨圧迫、119番
		生涯を通じる健康	思春期と健康、性意識の変化と性行動の選択	体の変化性機能の成熟、性意識変化・異性尊重
	2 学期	生涯を通じる健康	結婚、妊娠、家族計画、高齢社会と健康、働くことと健康	結婚、妊娠・出産、族計画の意義、高齢者を取り巻く環境、労働災害の推移
		健康を支える環境づくり	環境汚染と環境衛生、食品の安全性	大気汚染・健康影響、食品の安全性と課題
	3 学期	健康を支える環境づくり	保健制度・医療制度・医薬品の制度とその利用、誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	保健行政、医療保険、医薬品の種類と使い方、すべての政策や取組に「健康」の視点を
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査		ワークシート	授業に取り組む姿勢 ワークシート
備考				

[illegible]

教科	音楽	年次	2年次	系列	
科目名	音楽Ⅱ （単位数： 2 ）				
履修条件	1年次に音楽Ⅰを履修していること				
対象生徒	音楽関連進学希望者				
学習目的	・音楽Ⅰで習得した基本的な技術を用いて、自分なりの音楽表現力を高める。 ・諸活動を通して音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、より深く音楽を鑑賞する力を身につける。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1学期	呼吸法 ボディーパーカッション ピアノアンサンブル	「校歌」 「Best Friend」（２部合唱） 「リズム・アンサンブル」 「椰子の実」（斉唱） 「八木節パラフレーズ」 「４度のリフ」（４重奏） 「主よ、人の望みの喜びよ」（４重奏）		
	2学期	楽典 器楽 西洋音楽史	音名、音符の名称・種類と価値、拍子記号、調号と主音、音程 「Ombra mai fu」（独唱） 「White Christmas」（２部合唱） 「クリスマス・メドレー」（５重奏） 「マイ・ウェイ」（２部合唱）		
	3学期	映画音楽	ミュージカル 『サウンド・オブ・ミュージック』 から ・「すべての山に登れ」（２部合唱） ミュージカル『美女と野獣』 から ・「美女と野獣」（器楽２重奏）		
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 演奏・歌唱技術		定期考査 演奏課題		授業態度 歌唱・演奏意欲
備考	音楽に関する専門的な知識の習得を確認するため、授業中においても、実技、筆記試験等を実施し、評価の基礎材料とする。				

[illegible]

教科	芸術	年次	1 年次	系列	
科目名	美術Ⅰ（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	美術興味を持ち、学びたいもの また、将来、美術系（美容専門学校等含む）の進学を考えているもの				
学習目的	美術の基礎的な諸活動を通して、美的感覚を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、美術文化についての理解を深め、個性豊かな美術の能力を高める。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	(絵画・デザイン) デッサンⅠ実習 「手のデッサンの制作」 (デザイン・彫刻)	・鉛筆・水彩絵の具での細密描写を学ぶ ◆対象物を正確に捉えながら描く方法を学ぶ ◆水彩絵の具の使い方と幅広い表現不法を学ぶ	デッサン グレースケール アクリル絵の具 混色	
		切り絵実習 「ミニ切り絵で表現」	・切り絵の表現を学ぶ ◆切り絵の基礎的な制作方法を学ぶ	デザインナイフ 切り絵デザイン 漫画切り絵	
	2 学期	(絵画) 油彩画実習 「油彩画名画の模写」 (鑑賞) 美術史 「油彩画の歴史」	・油彩画絵の具の使い方、様々な表現方法を学び、油彩画作品を模写する ◆油彩画表現の特徴を知り、学ぶ ・油彩画の歴史を学ぶ	油彩画 油彩絵の具 キャンヴァス レオナルド・ダ・ヴィンチ クロード・モネ	
3 学期	(デザイン) 紙で作る建築物 「ポップアップアート」 (まとめ・鑑賞)	・画用紙を使った飛び出す仕掛けで作る立体作品「ポップアップ」を制作する ◆完成図から展開図を予測し、立体を作る方法を学ぶ ・一年の制作を振り返る	切込み法 展開図		
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	課題作品制作 小テスト		課題作品制作	課題作品制作 感想等プリント提出 授業中の様子	
備考	年間教材費として3,000円必要				

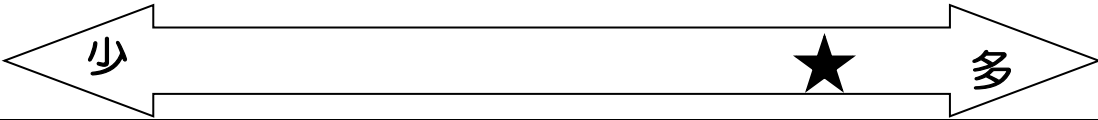
[illegible]

教科	芸術	年次	1 年次	系列	
科目名	書道 I （単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	書の伝統と文化に関心を持っている				
学習目的	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	漢字の学習 楷書 行書	臨書 楷書「九成宮 泉銘」ほか 臨書 行書「蘭亭序」ほか	背勢 向勢 露鋒 藏鋒 顔法 玉羲之 唐の四大家	
	2 学期	草書 隸書	臨書 草書「真草千字文」 臨書 隸書「曹全碑」 漢字創作	筆脈 逆筆 起筆 収筆 波磔 三筆	
	3 学期	篆書 仮名の学習	臨書 篆書「泰山刻石」 仮名「平仮名」	水平 左右相称 均等 中鋒 小篆 送筆 連綿 仮名の美	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	作品においての書表現の技能		作品においての感性、構想、表現の工夫	振り返りシート 清書提出 授業中様子	
備考					

[illegible]

[illegible]

教科	外国語	年次	1 年次	系列	
科目名	英語コミュニケーションⅠ（単位数： 3 ）				
履修条件	必修科目				
対象生徒	1 年次全員				
学習目的	①必要な情報を読み（聞き）取り，書き手（話し手）の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ②基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話してやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。				
講義の割合	少←→多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 ALTによる英語活動 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	Pre-Lesson1, 2 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	自己紹介 世界の朝食からわかる特徴や相違 野生動物と観光のルール 職業の意義 絶景と自然界の奇跡	be動詞、一般動詞、現在形、過去形、進行形、助動詞、to不定詞	
		2 学期	Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8	部活動を通して考える将来の夢 浮世絵と現代マンガの関連性 生きることの意味 ロボットの可能性	文型、動名詞、接続詞、受動態、比較表現、完了形
	3 学期		Lesson9 Lesson10	環境汚染の状況と海外の活動 戦後の沖縄とハワイの交流	分詞、関係代名詞、仮定法過去
観点別 評価項目		知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 小テスト		定期考査 パフォーマンステスト	提出物 予習	
備考					

教科	外国語	年次	2 年次	系列	
科目名	英語コミュニケーションⅡ（単位数： 3 ）				
履修条件	1 年次に、英語コミュニケーションⅠを履修していること				
対象生徒	2 年次生全員				
学習目的	1 年次で習得した英語の知識を使って、さらに論理的に表現する実践的な力を身につける。 また、必要な情報を読み取り、日常的・社会的な話題の概要や要点を把握する力を身につける。				
講義の割合					
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学期	Lesson1 Lesson2 Lesson3	ブラーノ島 サムのリクエスト ワイルドマンの世界		関係代名詞 (what) 比較表現 it の用法（形式主語）
	2 学期	Lesson4 Lesson5 Lesson6 Lesson7	ハチドリのしずく 歌舞伎メイクの物語 伝統野菜を未来につなぐ アートで世界をつなぐ		間接疑問文 to 不定詞 動詞の目的語になる if 節 関係副詞
	3 学期	Lesson8 Lesson9 Lesson10	自然のデザインに学ぶ 甘いチョコレートの苦い現実 ナイチンゲール		知覚動詞 使役動詞 分詞構文
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 課題・レポート パフォーマンステスト	提出物 予習 パフォーマンステスト	
備考					

教科	外国語	年次	3年次	系列		
科目名	英語コミュニケーションⅢ（単位数： 5 ）					
履修条件	英語コミュニケーションⅠ、Ⅱを修得していること					
対象生徒	大学・短大・看護医療系進学希望者					
学習目的	2年次までに習得した英語の知識を使って日常的・社会的な話題の概要や要点を把握し、さらに論理的に表現する実践的な力を身につける。					
講義の割合	◀ 少★多 ▶					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】					
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)	
	1学期	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	スペインの建築物 北海道固有の生き物の特徴 服の在り方とファッションの意味 食糧問題		Gaudi, architecture Akkamui fashion future food	
		2学期	Lesson5 Reading1 Lesson6 Lesson7	マダガスカル自然环境と問題 22世紀の学校（SF小説） 古代中国の史跡 国内外の再生可能エネルギー		biology, native species future school terracotta warriors renewable energy
			3学期	Lesson8 Lesson9 Lesson10 Reading2	戦争の悲惨さと平和の大切さ 雷のメカニズムと地球環境の変化 社会に影響を与えた女性 運命的な出会い（小説）	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	定期考査 小テスト		定期考査 課題・レポート パフォーマンステスト	提出物 授業中の取り組み パフォーマンステスト		
備考						

教科	外国語	年次	2年次・3年次	系列
科目名	論理・表現Ⅰ（単位数： 2 ）			
履修条件	1年次に英語コミュニケーションⅠを原則修得していること 2年次で選択した者は3年次で履修できない			
対象生徒	大学、医療看護系の進学を希望している生徒 英語を話すこと、書くことに興味がある生徒 資格取得等を目指して、自己を高めたい生徒			
学習目的	1年次までに修得した、文法の基礎知識を深める。 基本的な文法を使いながら、自分のことや身の回りに起こる日常的なことを、論理的に書いたり発信したりする表現力を身につける。			
講義の割合	少 ★ 多			
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1学期	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	学校生活 ペットや自分の日課 習慣や過去にしたこと 自分が経験したこと	文の種類 文法と動詞 時制 完了形
		2学期	Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8	自分の家のルール、将来の夢や目標 最近起こった日常的话题 将来の夢とすべきこと 得意な活動とその利点
	3学期		Lesson9 Lesson10 Lesson11 Lesson12	自分の性格、家族や友人の紹介 日本の文化や遊び 国際問題、フェアトレード 若者の将来
観点別 評価項目		知識・技能		思考・判断・表現
	定期考査 授業の取り組み	定期考査 課題・レポート パフォーマンステスト		小テスト 提出物 パフォーマンステスト 授業態度
備考				

教科	外国語	年次	3 年次	系列	
科目名	論理・表現Ⅱ（単位数： 2 ）				
履修条件	英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、および論理・表現Ⅰを修得していること				
対象生徒	大学、医療看護系の進学を希望している生徒 英語を話すこと、書くことに興味がある生徒 資格取得等を目指して、自己を高めたい生徒				
学習目的	今までに修得した文法の知識をさらに深め、自分のことや身の回りに起こる日常のことを、論理的に書いたり発信したりする実践的な表現力を身につける。				
講義の割合	◀ 少★多 ▶				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学 期	Lesson1	将来の目標 学校生活 スポーツ 情報化時代 Interview, Negotiation, Compromise		適切な主語を使う 適切な動詞を使う 時制 助動詞
		Lesson2			
		Lesson3			
		Lesson4			
		Activity			
	2 学 期	Lesson5	環境問題 文化 言語教育 日本社会の問題 Fact and Opinion, Research		形容詞、分詞等の修飾 関係詞 不定詞 話法
		Lesson6			
		Lesson7			
		Lesson8			
Activity					
3 学 期	Lesson9	願望 科学技術 健康 ビジネス Planning		仮定法 可算名詞・不可算名詞 比較 否定	
	Lesson10				
	Lesson11				
	Lesson12				
	Activity				
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 課題・レポート パフォーマンステスト	提出物 パフォーマンステスト	
備考					

教科	家庭	年次	1 年次	系列	
科目名	家庭基礎（単位数： 2 ）				
履修条件	必修修科目				
対象生徒	1 年次全員				
学習目的	・人の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な知識を理解し、技能を習得する。 ・家庭や地域、社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 ・さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				

教科	情報	年次	1 年次	系列	
科目名	情報 I （単位数： 2 ）				
履修条件	必修科目				
対象生徒	1 年次全員				
学習目的	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う。学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参加するための資質・能力を育成する。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	(問題演習) グループ学習 フィールドワーク (実習・実験) レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード （一部抜粋）	
	1 学期	コンピュータを使用するための基礎知識	情報の表現 コミュニケーション 権利と法について	PC教室のルール 周辺機器に対する基礎知識 文字の入力	
	2 学期	プログラミング 情報通信ネットワークとデータサイエンス	アルゴリズム 様々な処理の仕組みについて	モデル化 アルゴリズム ネットワーク	
	3 学期	データ活用	総合演習		
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 小テスト 実技テスト		定期考査 小テスト 課題提出		授業中の様子 振り返りシート 実習（文書作成ソフト等）
備考	検定（全商情報処理検定、全商ビジネス文書実務検定）を受験する。				

[illegible]

教科	商業	年次	3 年次	系列	
科目名	総合実践（単位数： 4 ）				
履修条件	1 年次で簿記を修得したもの 年間を通じて正装で臨む				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	・ 小売業に関する仕入・販売取引を模擬的に行い、実務に応用できる能力と態度を育てる。 ・ 売買取引の会計処理や株式の模擬売買、市場調査による報告書作成を行い、ビジネス社会の理解を深める。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				

教科	商業	年次	3 年次	系列	
科目名	ビジネス・コミュニケーション（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	・ビジネスにおけるコミュニケーションについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ・ビジネスを円滑に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおいてコミュニケーションを図ることに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 ペア学習 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	ビジネスマナー ・対応に関するビジネスマナー ・交際に関するビジネスマナー ・接客に関するビジネスマナー	・受付案内などの対応時の挨拶、言葉遣い、表情、電話対応、座席配置などについて学習する。 ・慶事、弔事、贈答、会食などについて学習する。	挨拶・お辞儀 名刺交換 敬語・言葉遣い 来客対応 席次	
	2 学期	ビジネスにおける思考の方法 ・ビジネスにおけるコミュニケーション ・意思決定と組織の構成者 ・信頼関係と人的ネット	・言語、非言語コミュニケーションの違いと重要性について学習する。 ・道筋を立て、論理的あるいは分析する方法を学習する。 ・ビジネスの場面を想定した討論やディベートについて学習する。	論理的な思考 話し方と聞き方 報告・説得・交渉 プレゼンテーション 苦情対応 会議	
	3 学期	ビジネスと外国語 ・時代が求めるコミュニケーションスキル ・ビジネスの会話	・ビジネスにおける外国語の重要性について扱い英語が企業内での公用語となっている具体例を学習する。	挨拶 日本の慣習や文化 電話のかけ方、受け方 空港での入国出国審査	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト 演習		定期考査 小テスト 演習	授業態度 グループワーク リフレクションシート 提出物	
備考					

教科	商業	年次	3年次	系列	
科目名	マーケティング (単位数: 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	・マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 ・マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	マーケティングの概要 消費者行動の理解 市場調査	現代市場の特徴を理解し、マーケティングの考え方や計画の立案に必要な消費者行動について学習する。 市場調査について理解し、関連する技術を学習する。	STP分析	
	2学期	製品政策 価格政策 チャネル政策 プロモーション政策	企業における事例と関連付けて学習する。	製品政策 4P 4C プロモーション	
	3学期	マーケティングの ひろがり	マーケティングの広がりについて企業における事例と関連付けて学習する。	身近なマーケティング	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 小テスト 演習	授業態度 リフレクションシート 提出物	
備考					

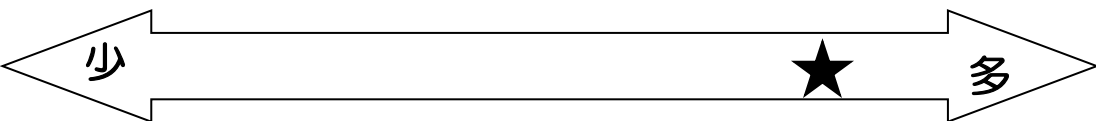
教科	商業	年次	3 年次	系列	
科目名	商品開発と流通（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	・商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 ・商品開発と流通に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、商品開発と流通に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> <u>フィールドワーク</u> 実習・実験 <u>レポート作成</u> その他の特徴的な活動【 校外での販売実習 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	商品開発の基本 商品の企画 商品の開発	商品や商品開発の考え方および商品開発の手順について学習する。 具体的な事例と関連付けて分析し、商品企画書の作成について学習する。 商品の企画や仕様の詳細を再検討することの重要性について学習する。	商品開発プロセス 環境分析 アイデアの創出 商品コンセプト 試作品	
	2 学期	商品の開発 事業計画 販売実習	最終試作品のテストを行い、商品を完成させ、商品仕様・詳細設計を決定する一連の流れについて学習する。 会議で提案することを想定して、具体的な事業計画書を作成してプレゼンテーションを実施、改善を図る。	マーケティング計画 事業計画 事業計画の実践 知的財産	
	3 学期	商品開発の動向と課題	商品を開発することの重要性について扱い、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する。	デザイン思考 消費者参加型	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	レポート ワークシート		レポート ワークシート 発表	授業態度 提出物 販売実習	
備考					

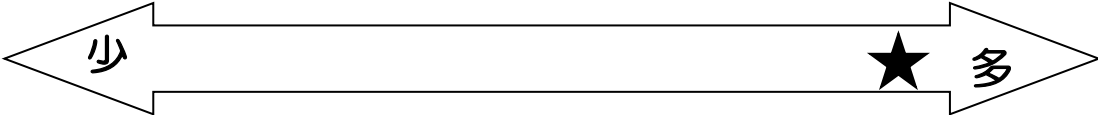
教科	商業	年次	3年次	系列	
科目名	観光ビジネス（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	・観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ・観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ・ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
講義の割合	少★多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> <u>フィールドワーク</u> 実習・実験 <u>レポート作成</u> その他の特徴的な活動【				

教科	商業	年次	3 年次	系列	
科目名	ビジネス法規 （単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を行うことなどをして、ビジネスに関する法知識を身につけ、ビジネスの展開に必要な資質・能力を育成することを目指す。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード （一部抜粋）	
	1 学期	法の概要 企業活動と法規	ビジネスにおける法の役割 法の体系と解釈・適応 権利・義務と財産権 契約 企業活動における契約 株式会社の特徴と機関	法の意義・役割・体系 契約の概要 雇用契約 消費貸借契約 売買契約	
	2 学期	税と法規 企業責任と法規	税の種類と法人の納税義務 法人税の申告と納付 消費税の申告と納付 法令遵守 労働者の保護 消費者の保護 情報の保護 紛争の予防と解決	税の種類と分類 法人納税義務 法令遵守と説明責任 労働基本法 労働関係調整法 労働者保護に関する規定 と考え方	
	3 学期	経済環境の変化と法	経済環境の変化と法	経済環境の国際化と法 情報化と法 サービス経済化と法 経済環境の変化と法	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	ワークシート 定期考査 小テスト		ワークシート 定期考査 小テスト	授業態度 リフレクションシート 提出物	
備考	資格取得（商業経済検定２級）を目指す。				

教科	商業	年次	1 年次	系列	
科目名	簿記 (単位数： 4)				
履修条件	特になし				
対象生徒	1 年次全員				
学習目的	・ 簿記について実務に即して知識と技術を習得し、その基本的な仕組みについて理解する。 ・ 取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだす。 ・ 簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記録と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	簿記の基礎 取引の記帳 (1)	企業における日常の取引に関する主要簿 (仕訳帳と総勘定元帳) 及び関連する補助簿の記帳方法について学習する。	現金と預金 債権・債務と有価証券 商品売買 固定資産 個人企業の純資産	
	2 学期	決算 (1) 会計帳簿と帳簿組織 取引の記帳 (2)	決算に関する知識、技術などを学び、適正な決算整理と財務諸表の作成について学習する。	決算整理 (1) 8 桁精算表 帳簿決算・会計帳簿 会計ソフトウェア活用 伝票の利用	
	3 学期	決算 (2) 株式会社の取引	財務諸表を作成するための精算表や貸借対照表と損益計算書を実務にそって学習する。	決算整理 (2) 費用・収益の見越し、繰り延べ 株式会社の取引と財務諸表	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト ワークシート		定期考査 小テスト ワークシート	提出物 授業態度 リフレクションシート	
備考	資格取得 (全経簿記能力検定 3 級、全商簿記実務検定 3 級、日商簿記検定 3 級) を目指す。				

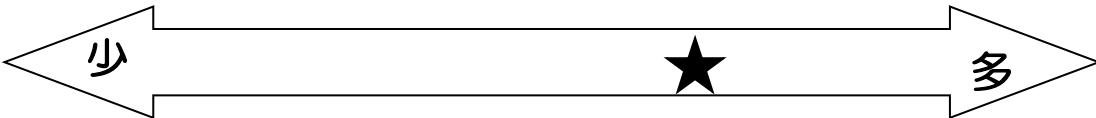
教科	商業	年次	2 年次	系列	
科目名	財務会計Ⅰ （単位数： 4 ）				
履修条件	1 年次に簿記を履修していること。「原価計算」と同時履修すること。				
対象生徒	2 年次選択者				
学習目的	・ 1 年次で学んだ「簿記」をもとに、財務諸表の作成や活用の方法を学び、経済活動に役立てる能力と態度を養う。 ・ 企業会計のあらましと企業が公表する財務諸表を理解し、社会で活躍できる知識とそれらを説明できるコミュニケーション力を身につける。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	(問題演習) グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	財務会計の基礎 貸借対照表	貸借対照表のあらまし 資産の意味・分類・評価 負債の意味と分類	資産・負債・純資産 流動資産・流動負債 固定資産・固定負債	
	2 学期	貸借対照表 損益計算書	純資産の意味と分類 損益計算書のあらまし 損益計算の意味と基準 その他会計処理	資本金・資本剰余金 利益剰余金 自己株式・新株予約権 費用・収益・売上原価 税効果会計	
	3 学期	財務諸表の活用 連結財務諸表の作成	財務諸表の分析 財務諸表の重要性と活用等	関係比率法・実数法 企業グループ ディスクロージャー 連結精算表	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	ワークシート 定期考査 小テスト		ワークシート 定期考査 小テスト	授業態度 リフレクションシート 提出物	
備考	資格取得（全商簿記実務検定（財務会計）１級）を目指す。 ２月を目途に日本商工会議所主催簿記検定２級を目指す。				

教科	商業	年次	3 年次	系列
科目名	財務会計Ⅱ（単位数：4）			
履修条件	2 年次で「財務会計Ⅰ」と「原価計算」を選択した者			
対象生徒	3 年次選択者			
学習目的	国際的な会計ルールや最新の会計基準に基づいた会計情報をもとに、社会に対する会計責任を果たすとともに、財務情報の適切な分析力を身につける。財務会計Ⅱをとおして、日々変化を求められる現代社会に対応するための能力を身につける。			
講義の割合				
講義以外の主な活動	問題演習グループ学習フィールドワーク実習・実験レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード （一部抜粋）
	1 学期	財務会計の基本概念と会計基準	会社法を中心に、財務諸表の作成方法をはじめ、基本的な知識を学習 企業会計原則をもとに、公正なる会計慣行について学習	商業簿記 工業簿記 税効果会計 外貨建取引 新株予約権
	2 学期	キャッシュフロー計算書の作成	金融商品取引法を中心に、財務諸表の作成方法をはじめ、基本的な知識を学習	財務諸表分析 ストック・オプション 連結会計
	3 学期	監査と職業会計人	財務諸表の開示と監査 職業会計人の職務 「監査」の重要性や職業としての会計人について学習	会計人 監査 国際会計基準
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考查 提出物 小テスト		定期考查 提出物 小テスト	授業態度 学習支援アプリでの取組 リフレクションシート
備考	日本商工会議所主催　簿記検定 2 級 全国商業高等学校協会主催　財務会計検定・財務諸表分析検定			

教科	商業	年次	2 年次	系列	
科目名	原価計算（単位数： 4 ）				
履修条件	1 年次に簿記を履修していること。「財務会計Ⅰ」と同時履修すること。				
対象生徒	2 年次選択者				
学習目的	・原価計算について実務に即して知識と技術を習得し、その基本的な仕組みについて理解する。 ・原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 ・原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード （一部抜粋）	
	1 学期	原価計算の基礎 原価の費目別計算 個別原価計算	原価と原価計算、製造業における簿記の特色と仕組みについて理解し、原価と原価計算に関する基礎的な知識を学習する。	原価の三要素 材料費 労務費 経費 製造間接費	
	2 学期	総合原価計算 工程別原価計算 減損・仕損処理 製品の完成と販売	目的別・生産形態別・加工形態別の原価計算方法を学び、適切な方法で製品原価を求める。	月末仕掛品 単純・等級別・組別 副産物・作業くず	
	3 学期	本社・工場間の取引決算 標準原価計算 直接原価計算	標準原価計算の目的と手続き、原価差異の原因分析及び損益計算書の基本的な作成方法を習得する。また、直接原価計算の有用性を理解する。	財務諸表作成 シュラッター図 CVP分析	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 小テスト		定期考査 小テスト 演習		授業態度 リフレクションシート 提出物
備考	資格取得（全商簿記実務検定 1 級原価計算）を目指す。				

教科	商業	年次	2年次・3年次	系列	
科目名	情報処理（単位数： 4 ）				
履修条件	2年次で選択した者は3年次で履修できない				
対象生徒	2年次選択者、3年次選択者				
学習目的	・商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどをおして、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を育成することを目指す。 ・ビジネスに関する情報を収集、処理、分析し、表現する知識と技術を習得する。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	企業活動と情報処理 情報の集計と分析（1）	身近な事例を基に情報とは何かを考える学習する。 基本的な操作や計算式及び関数について理解し、目的に応じて適切な表の作成する技術を身に付ける。	情報処理の重要性 情報モラルと法規 関数を利用した作表 グラフの作成	
	2学期	情報の集計と分析（2） ビジネス文書の作成	表計算ソフトのデータベース機能、情報の整理及びPDCAサイクルによる企業活動の改善について学習する。 ワープロの利用に関する知識と技術について学習する。	情報の整列・検索・抽出 問題発見とその解決方法 ワープロを利用した文書作成	
	3学期	プレゼンテーション 総合演習	プレゼンテーションソフトウェアを活用した実習を通して、資料作成などの発表準備から発表までの一連の活動について学習する。 各種ソフトウェアを適切に活用し、発表する。	プレゼンテーションについての技法 ビジネスシーンにおけるプレゼンテーション	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト 実技テスト		定期考査 小テスト ワークシート	授業態度 リフレクションシート 提出物	
備考	資格取得（全商情報処理検定ビジネス情報部門1・2級、全商ビジネス文書実務検定）を目指す。				

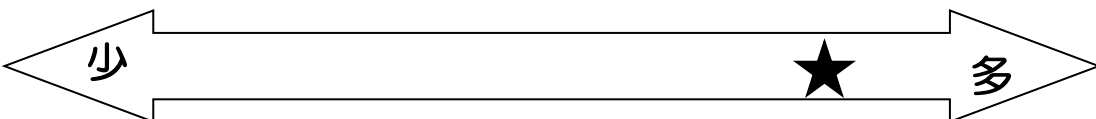
教科	商業	年次	3 年次	系列
科目名	ソフトウェア活用（単位数： 4 ）			
履修条件	2 年次で情報処理を履修した者			
対象生徒	3 年次選択者			
学習目的	・企業活動におけるソフトウェアの活用とその環境について理解するとともに、関連する技術を身につけること。 ・ソフトウェアを活用することの意義と課題について、企業活動の改善と関連付けて見いだすこと。 ・企業活動におけるソフトウェアの活用とその環境について自ら学び、企業活動の改善に自主的かつ協働的に取り組むこと。			
講義の割合				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	情報通信ネットワークの活用 ソフトウェアの活用	情報技術の進歩や、それを活用する基本的な技術を身につける。 ソフトウェアの意義と重要性を学習する。	ソフトウェア 意義
	2 学期	データベースソフトウェアの活用 業務処理用ソフトウェアの活用	データベースの特徴や基本的な機能を学習する。 企業活動の業務の効率的な処理について、知識、技能を身につける。	データベース 効率的な処理
	3 学期	情報システムの開発	情報システムの開発に関する基礎的な知識、技術について学習する。	情報システム
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考查 小テスト		定期考查 小テスト 実技課題	授業態度 リフレクションシート 提出物
備考	資格取得（全商情報処理検定ビジネス情報部門１級）を目指す。			

教科	商業	年次	２年次	系列	
科目名	プログラミング（単位数：４）				
履修条件	特になし				
対象生徒	２年次選択者				
学習目的	・プログラムと情報システムの開発について理解するとともに、関連する技術を身につける。 ・企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ・企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード（一部抜粋）	
	１学期	情報システムとプログラミング アルゴリズム	情報システムの重要性、プログラミング言語の種類と特徴を理解する。 アルゴリズムの表現技法、データ構造、制御構造などを学習する。	手続き型言語 オブジェクト指向型言語 テストラン デバッグ 流れ図 変数・定数	
	２学期	アルゴリズム ハードウェアとソフトウェア	アルゴリズムの配列の利用について学習する。 ハードウェアとソフトウェアの機能と効果的な活用について理解する。	条件判定繰り返し処理 配列 論理演算 システムソフトウェア アプリケーションソフトウェア	
	３学期	プログラムと情報システムの開発	情報システム開発の手法と手順を学習し、企業活動に有用なプログラムの開発を学習する。	プロジェクト管理 人的資源 物的資源 携帯型情報通信機器	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考查 小テスト		定期考查 小テスト	授業態度 リフレクションシート 提出物	
備考	全国商業高等学校主催情報処理検定（プログラミング部門）１・２級の取得を目指す。				

[illegible]

教科	商業	年次	2・3年次	系列	
科目名	ビジネススキル（単位数： 4 ）				
履修条件	2年次で履修した者は3年次では履修できない				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	・ビジネスのさまざまな場面で活用する文書やプレゼンテーションの知識・技能を身につける。 ・企業活動を支えるソフトウェアを活用し、販売実習など実務で使用する電卓の基礎と売買計算を学び、社会で活躍する力や課題解決する力を身につける。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 PC・電卓を活用します 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	社会人基礎力とは 企業活動とは 売買に関する計算 ビジネスで使う文書作成Ⅰ	・組織や地域社会の中で多様な人々とともに仕事をする上で必要となる基礎的な能力について学ぶ。 ・ビジネスで活用する文書の基礎を学び校正記号を含むビジネス文書（案内状・社外文書等）を作成する。 ・電卓の基礎知識を学び、売買に関する計算とそのスキルを学ぶ。	ビジネスマナー タッチタイピング 校正記号 漢字 電卓の基礎 外貨 度量衡 割合・単利・複利	
	2学期	売買に関する知識 実践的な取引 ビジネスで使う文書作成Ⅱ	・学校行事「わだやマーケット」の案内状など、実務で扱う文書を作成する。 ・オンライン、メール上でのマナーを学ぶ。 ・販売実習に向けて、接客マナー・レジ対応（電卓）などの実践練習を行う。 ・礼状の作成（表・オブジェクト・校正記号・テキストファイルを含む文書について体裁を整えて作成する）	漢字（3・4字熟語） 売買計算 手形割引 減価償却費 証券投資 複利年金	
	3学期	プレゼンテーション 企画書	アプリケーションを活用し、企業の企画書や体験した内容などを資料にまとめ、プレゼンテーションのスキルを学ぶ。 証券投資、経営分析を行い、起業するシミュレーションを行う。	プレゼンテーション パワーポイント	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	授業課題 定期考査		実技課題 定期考査	授業態度 リフレクションシート 提出物	
備考	資格取得（全商ビジネス文書実務検定1・2級、全商ビジネス計算実務検定1・2級）を目指す。				

教科	商業	年次	3 年次	系列	
科目名	アントレプレナーシップ（単位数：2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	起業・創業について興味を持ち、基礎的な知識を学習し、疑似体験等により起業プロセスの一部を体験することにより、多様なキャリア形成に共通して必要な起業家マインドや起業家的資質と呼ばれる態度や能力を身につける。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク 実習・実験 <u>レポート作成</u> その他の特徴的な活動【 ビジネスプランの作成 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	起業・創業とは 企業の社会的責任とは 収支計画の作成	起業家講話等をとおして、「起業」「創業」について、興味を持ち、疑似体験を通じた学びを行う。 戦略マネジメントゲームを活用して、原価計算の基礎を学ぶ。	起業 創業 アントレ 戦略・マネジメント	
	2 学期	ビジネスプランの作成	自ら会社を設立（仮想）し、収支計画からターゲットや原価について、計画を立てる。 専門家を招聘し、策定した計画をブラッシュアップし、評価してもらう。	会社設立 収支計画 ターゲット ビジネスプラン	
	3 学期	発表	ビジネスプランを完成させ、発表する。	発表 中小企業	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	レポート		レポート ワークシート	授業態度 学習支援アプリでの活動	
備考					

教科	家庭	年次	2年次	系列	
科目名	保育基礎 （単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次選択者				
学習目的	・ 保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴について理解する。 ・ 子どもの福祉や文化について理解し、子どもに関わる意欲や実践的な態度をみにつける。				
講義の割合					
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1学期	子どもの保育 子どもの発達	・ 保育の意義、方法、環境 ・ 子どもの発達の特性 ・ 子どものからだの発達 ・ 子どもの心の発達		保育環境・こども園 発達と発育 原始反射・反抗期 母子健康手帳
	2学期	子どもの生活 子どもの文化	・ 子どもの生活と養護 ・ 生活習慣の形成 ・ 健康管理と事故防止 ・ 子どもの文化の意義と遊び		人工栄養・離乳食・ 食育・自立 予防接種 児童文化財
	3学期	子どもの福祉	・ 子ども観 ・ 子どもの福祉 ・ 子育て支援		子どもの権利 子育て支援 自動虐待
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 小テスト レポート 実習		定期考査 小テスト レポート		授業態度（実習含む） 提出物 振り返りシート
備考					

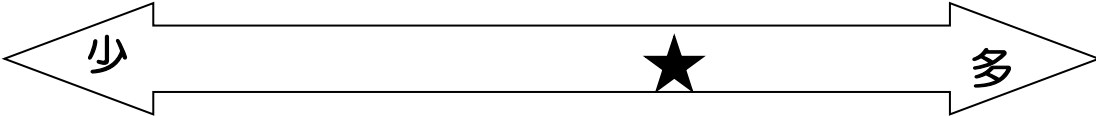
教科	家庭	年次	3年次	系列	
科目名	保育実践（単位数： 2 ）				
履修条件	保育基礎を履修した者				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	・子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財に関する知識と技術を習得し、子ども文化の充実を図る能力と態度を培う。 ・子どもと交流する中で、学習したことを実践する。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク <u>実習・実験</u> レポート作成 その他の特徴的な活動【 音楽セラピストによるリトミックの授業あり				

教科	家庭	年次	2年次	系列	
科目名	生活と福祉（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次選択者				
学習目的	・高齢者の健康と生活、介護などに関する知識と技術を習得し、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援・福祉の充実に向けて主体的・協働的に取り組む態度を養う。 ・高齢者をはじめとする家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、取り組む態度を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	人の一生と生活・健康 高齢化の現状と 高齢者の特徴	健康の概念 ライフステージと健康管理 高齢化の現状 高齢者の心身の特徴と病気 高齢者の生活課題と施策	QOL 生活習慣と生活課題 高齢化	
	2学期	高齢者の自立生活支援 介護・看護の 実習と生活支援	自立生活支援の基本となる考え方 高齢者介護 介護の実習 看護の実習	個人の尊厳 ノーマライゼーション 地域包括ケアシステム 介護 看護	
	3学期	高齢者支援の 法律と制度 介護・看護の実習と 生活支援	社会保障制度と高齢者福祉のあゆみ 介護保険制度 高齢者支援と地域包括ケアシステム 生活支援	社会保障制度 社会福祉制度 介護保険制度 衣食住の生活支援 販売取引トラブル	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査・小テスト レポート・発表 介護体験実習（講義演習）	ノート提出 授業態度 振り返りシート	
備考					

教科	家庭	年次	2 年次	系列	
科目名	ファッション造形基礎（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	2 年次選択者				
学習目的	・衣服の構成、衣服材料の種類や特徴、衣服製作などについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ・衣服製作やデザインに関する課題を発見し、解決する力を養う。 ・衣生活の充実を目指して自ら学ぶ姿勢を養う。 ・家庭科技術検定（被服製作）２級取得を目指す。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク <u>実習・実験</u> レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード（一部抜粋）	
	1 学期	衣服の構成 衣服の素材 被服製作の基本	・立体構成の衣服と平面構成の衣服 ・衣服素材の種類 ・衣服素材の性能と選択 基礎縫い 「家庭科技術検定 被服３級 基礎縫い」の取り組み ・手縫い（並縫い・まつり縫い・半返し縫い・ボタン付け）	立体構成・平面構成 衣服素材と性能 家庭科技術検定 基礎縫い	
	2 学期	洋服の製作 和服の製作	・製作の基礎（用具・採寸・布地の性質） ・「家庭科技術検定２級 アウターパンツ」の取り組み ・和服の素材・和服製作のための用具と基本的な技法 ・和服「じんべい」の製作	立体構成の製作 布の柄と向き しるしつけ 裁ち目の処理・縫いしろ 平面構成の製作 採寸 手縫い	
	3 学期	和服の製作 応用作品の製作	和服「じんべい」の製作 ・縫製・仕上げ 基礎基本を取り入れた応用作品の製作	手縫いの技法（耳ぐけ・三つ折りぐけ・本ぐけ） きせ	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 作品評価		定期考査 レポート	授業態度 レポート 振り返りシート	
備考	全ての作品が提出されていることが単位修得の条件となる。				

[illegible]

教科	家庭	年次	2 年次	系列
科目名	服飾手芸（単位数： 2 ）			
履修条件	特になし			
対象生徒	2 年次選択者			
学習目的	・手芸の種類、技法などに関する知識と技術を身につけ、自ら学ぶ姿勢を養う。 ・手芸の技法を日常生活に取り入れ活用することができる能力を育てる。			
講義の割合	← 少 ★ 多 →			
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【			

教科	家庭	年次	2年次	系列	
科目名	フードデザイン（単位数：2）				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次選択者				
学習目的	・栄養，食品，献立，調理，テーブルコーディネートなどについて理解する。 ・食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し，解決する力を養う。 ・食生活の充実向上を目指して自ら学ぶ態度を養う。 ・家庭科技術検定(食物調理)準2級の取得を目指す。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	栄養素の働きと食事計画 調理の基本・実技 調理実習	五大栄養素 家庭科技術検定3級 日常食	五大栄養素・消化吸収 調味料の容量と重量計量・基本切り	
	2学期	栄養素の働きと食事計画 調理の基本・実技 調理実習	ライフステージと栄養 食事摂取基準と食事計画 調理操作 家庭科技術検定準2級 日常食、行事食	ライフステージ 食中毒 家庭科技術検定	
	3学期	料理様式とテーブルコーディネート 調理実習	日本料理・西洋料理・中華料理 テーブルコーディネート 日常食、行事食	テーブルコーディネート 供応食	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考查 小テスト 調理実習		定期考查 小テスト レポート	授業態度 提出物 振り返りシート	
備考					

教科	家庭	年次	3 年次	系列
科目名	食文化（単位数： 2 ）			
履修条件	食品と同時履修はできない			
対象生徒	3 年次選択者			
学習目的	食文化の成り立ち、日本と世界の食文化などに関する知識と技術を習得させ、食文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を育てる。			
講義の割合				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	食文化の成立 日本の食文化 世界の食文化 調理実習	食習慣の変化と食生活指針 日常食・行事食・郷土料理 料理様式の発展 食と宗教 主食の選択 日常食 行事食 郷土料理	食生活指針 生活習慣病 食料自給率 宗教 主食
	2 学期	世界の食文化 食文化の伝承と創造 調理実習	世界の料理の特徴と文化 食生活の国際化 食文化の伝承の重要性 新しい食文化を創造する意義 日常食 行事食 郷土料理	世界の食事 文化の継承 年中行事
	3 学期	食文化の未来像 調理実習	日本の食環境 食文化の未来像 日常食 行事食 郷土料理	SDGs 食料自給率 文化の継承 郷土料理 地産地消
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 小テスト 調理実習		定期考査 小テスト レポート	授業態度 提出物 振り返りシート
備考				

教科	家庭	年次	3 年次	系列	
科目名	食品（単位数： 2 ）				
履修条件	食文化と同時履修はできない				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	・ 食品の分類とその特徴、食品の表示、食品の加工と貯蔵などに関する知識と技術を習得し、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上をはかる能力と態度を育てる。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の 主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク <u>実習・実験</u> レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	食品の特徴 実験・実習	食品の特徴と性質 →穀類 いも類 砂糖類 豆類 種実類 野菜類 果物類 きのこ類 食品の調理性に関わる実験・調理実習	食品の性質 加工品・加工方法 保存方法	
		2 学期	食品の特徴 実験・実習	食品の特徴と性質 →海藻類 魚介類 肉類 卵 牛乳・乳製品 油脂類 寒天・ゼラチン 調味料・香辛料 加工食品と加工方法	食品の性質 加工品・加工方法 保存方法
	3 学期	食品の表示 食品の加工と貯蔵 食品の生産と流通 実験・実習	・ 食品の表示制度 各種食品の表示 ・ 食品の加工 食品の貯蔵 ・ 食品の流通と食糧需給 食品の調理性に関わる実験・調理実習	食品表示 保存食	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考查 小テスト 調理実習		定期考查 小テスト レポート	授業態度 提出物 振り返りシート	
備考					

教科	理科	年次	3 年次	系列	
科目名	理数化学 (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	化学的な事物・現象についての観察，実験などを行い，自然に対する関心や探究心を高め，科学的に探究する能力と態度を育てるとともに，化学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め，科学的な自然観を育成する。				
講義の割合	少★多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 本格的な実験は少ないですが、 演示実験や簡単な実験も多数あります。 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学期	1 化学と人間生活	1 化学と人間生活 (1)身近な物質 【実験】重曹の成分		成分 純物質、混合物、分離 元素、周期表、原子番号 組成式、三態変化 物質量、係数、酸、塩基 中和、酸化還元、電気分 解、 ボイルの法則、シャルル の法則、気体の状態方程 式、沸点上昇、凝固点降 下、浸透圧、コロイド 反応熱、化学平衡
		2 物質の構成			
	2 学期	3 物質の変化	2 物質の構成 (1)物質の成分 (2)物質の三態 (3)元素 (4)化学結合と化学式 【実験】量的関係		
4 物質の状態と 化学平衡		3 物質の変化 (1)物質量 (2)化学反応式と量的関係 (3)酸塩基と中和反応 (4)酸化還元反応 【実験】中和滴定			
	3 学期		4 物質の状態と化学平衡 (1)気体の性質 (2)希薄溶液の性質 (3)反応熱 (4)化学平衡		
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査		定期考査		定期考査
	小テスト		小テスト レポートの内容		授業態度 レポートの内容
備考	評価は定期考査とレポートになります。演示実験や簡単な実験も多くなります。演習問題で授業内をしっかりと理解することが大切です。そのためには、自ら取り組む姿勢を大切にすることです。また、レポートなどの提出物は提出期限を厳守してください。				

教科	理科	年次	3 年次	系列	
科目名	理数生物 (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	生物や生物現象について学び、自然に対する関心や探究心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の系統的な理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学期	1 生物の進化と系統	1 生物の進化と系統 (1) 生物の多様性 (2) 生物の進化と系統		起源、変遷、進化、系統多様性
	2 学期	2 生物と遺伝子	2 生物と遺伝子 (1) 生物の共通性と多様性 (2) 細胞とエネルギー		核酸、DNA、複製、分裂、バイオテクノロジー、ヒトゲノム医療
	3 学期	3 生命現象と物質	3 生命現象と遺伝子 (1) 遺伝情報とDNA、発現、分配 (2) バイオテクノロジー		多様性、共通性、細胞、代謝、同化、異化、ATP ADP、酵素
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考查 小テスト		定期考查 小テスト		定期考查 提出物の状況 授業態度 小テスト
備考	評価は定期考查と小テスト、授業態度になります。演習問題で授業内をしっかりと理解することが大切です。そのためには、自ら取り組む姿勢を大切にすることです。また、報告書などの提出物は提出期限を厳守してください。				

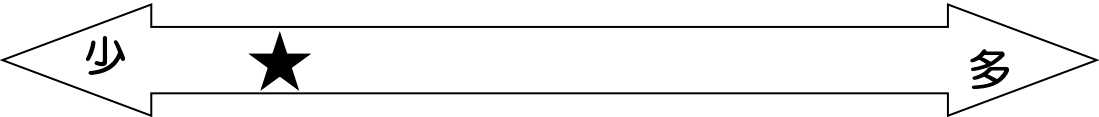
教科	保健体育	年次	3 年次	系列	
科目名	スポーツ概論（単位数： 2 ）				
履修条件	選択				
対象生徒	3 年次生希望者				
学習目的	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を育成する。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技、小テスト、レポート、振り返りシート 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	「球技」及び「ニュースポーツ」	グラウンドゴルフ バドミントン サッカー	ゴール型、ネット型球技への多様な関わり方	
	2 学期	「球技」及び「ニュースポーツ」	バスケットボール サッカー ソフトボール	ゴール型、ベースボール型球技への多様な関わり方	
	3 学期	「球技」及び「ニュースポーツ」	フットサル バレーボール 卓球	ネット型、ゴール型球技への多様な関わり方	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実技テスト 小テスト レポート		小テスト レポート	授業中の取り組む姿勢 振り返りシート レポート	
備考					

教科	保健体育	年次	2年次	系列	
科目名	スポーツⅡ（単位数： 2 ）				
履修条件	選択				
対象生徒	2年次生希望者				
学習目的	球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、生涯を通じて球技に親しむ実践力を養う。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技、小テスト、レポート、振り返りシート 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	「球技」	バドミントン フットサル・バスケットボール	ゴール型、ネット型球技への多様な関わり方	
	2学期	「球技」	ソフトボール ハンドボール	ベースボール型、ゴール型球技への多様な関わり方	
	3学期	「球技」	バレーボール バスケットボール	ネット型、ゴール型球技への多様な関わり方	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実技テスト 小テスト レポート		小テスト レポート	授業中の取り組む姿勢 振り返りシート レポート	
備考					

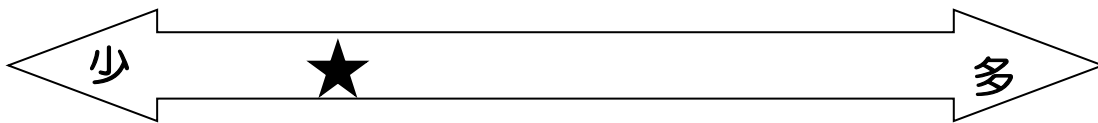
教科	保健体育	年次	3年次	系列	
科目名	スポーツⅡ（単位数： 2 ）				
履修条件	選択				
対象生徒	3年次生希望者				
学習目的	球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、生涯を通じて球技に親しむ実践力を養う。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技、小テスト、レポート、振り返りシート 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	「球技」	キックベース バレーボール	ベースボール型、ネット型球技への多様な関わり方	
	2学期	「球技」	バスケットボール バドミントン	ゴール型、ネット型球技への多様な関わり方	
	3学期	「球技」	フットサル 卓球	ゴール型、ネット型球技への多様な関わり方	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実技テスト 小テスト レポート		小テスト レポート	授業中の取り組む姿勢 振り返りシート レポート	
備考					

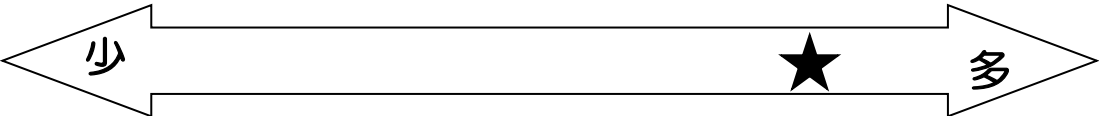
教科	保健体育	年次	2 年次	系列	
科目名	スポーツⅥ（単位数： 2 ）				
履修条件	選択				
対象生徒	2 年次生希望者				
学習目的	各種トレーニングを実践し、心と体の両面を鍛える。形態測定や体力測定を定期的に実施し成長を実感する				
講義の割合	◀ 少 ★ 多 ▶				
講義以外の 主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク <u>実習・実験</u> レポート作成 その他の特徴的な活動【 各種トレーニングの学習と実践、振り返り 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	柔軟性を高めるトレーニング 形態測定/体力測定 最大筋力計測 各種トレーニングの実践	体育理論 技能と体力 技能の上達過程と練習の 考え方 体力トレーニング	
	2 学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	ウォーミングアップメニュー考案 形態測定/体力測定 最大筋力計測 トレーニングメニュー考案 各種トレーニングの実践	体育理論 効果的な動きのメカニズ ム 運動やスポーツでの危険 予知と安全確保	
	3 学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	形態測定/体力測定 最大筋力計測 トレーニングメニュー考案 各種トレーニングの実践	体育理論 効果的な動きのメカニズ ム 運動やスポーツでの危険 予知と安全確保	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	トレーニングの実践結果 小テスト 課題プリント ワークシート		ワークシート レポート	授業中の取り組む姿勢 ワークシート 振り返りシート レポート	
備考					

教科	保健体育	年次	3 年次	系列	
科目名	スポーツⅥ (単位数： 2)				
履修条件	選択				
対象生徒	3 年次生希望者				
学習目的	各種トレーニングを実践し、心と体の両面を鍛える。形態測定や体力測定を定期的の実施し成長を実感する。				
講義の割合	◀ 少 ★ 多 ▶				
講義以外の 主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク <u>実習・実験</u> レポート作成 その他の特徴的な活動【 各種トレーニングの学習と実践、振り返り 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	柔軟性を高めるトレーニング 形態測定/体力測定 最大筋力計測 各種トレーニングの実践	体育理論 技能と体力 技能の上達過程と練習の 考え方 体力トレーニング	
	2 学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	ウォーミングアップメニュー考案 形態測定/体力測定 最大筋力計測 トレーニングメニュー考案 各種トレーニングの実践	体育理論 効果的な動きのメカニズ ム 運動やスポーツでの危険 予知と安全確保	
	3 学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	形態測定/体力測定 最大筋力計測 トレーニングメニュー考案 各種トレーニングの実践	体育理論 効果的な動きのメカニズ ム 運動やスポーツでの危険 予知と安全確保	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	トレーニングの実践結果 小テスト 課題プリント ワークシート 体力測定		ワークシート レポート	授業中の取り組む姿勢 ワークシート 振り返りシート レポート	
備考					

教科	音楽	年次	2 年次	系列
科目名	演奏研究（単位数： 2 ）			
履修条件	原則として、読譜ができること			
対象生徒	音楽関連進学希望者			
学習目的	多くの表現活動について深く探求し、感性を磨き、将来につながる豊かな感受性と能力を養う。また、各自の希望進路に必要な技能と、将来役立つと思われる技能を修得する。			
講義の割合				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】			
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)
	1 学期	ポピュラーソングに親しみ日本の四季を感じよう世界の愛唱歌	・「TSUNAMI」(鍵盤 2 重奏) ・「アニメ・メドレー」(鍵盤 2 重奏) ・「日本の詩情」(鍵盤 5 重奏) ・「Amazing Grace」(ア・カペラ 2 重唱) ・「カノン」(鍵盤 4 重奏)	
	2 学期	アンサンブルを楽しむピアノ演奏 ・入試などの課題曲、自由曲がある生徒は、その曲を中心にして練習する ・進路に関わらない生徒は、自分で演奏したい曲を決めて練習し、発表する	・Face to Face ボディ・パーカッション ・缶・勘・感～CAN BEAT～ パーカッションアンサンブル ・入試に関わる実技は、試験のシミュレーションを行う ・演奏上の注意点は適時指摘する	
	3 学期	ミニ・コンサート	・生徒に選曲させ、練習、発表させる(個人、グループは問わない)	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	定期考查 実技課題 レポート		定期考查 演奏技術	授業態度 演奏意欲
備考	個々の技術力、表現力をまず優先して評価していく。ただし、個人差もあるため、授業に対する取り組み姿勢、出席状態等も配慮していく。 各個人において、それぞれの目標レベルを設定し、その到達度によって評価するため、定期考查は実施しない。			

教科	音楽	年次	3 年次	系列	
科目名	ソルフェージュ（単位数： 2 ）				
履修条件	原則として、読譜ができること				
対象生徒	音楽関連進学希望者				
学習目的	・ 音楽についての専門的な内容に触れ、音楽の仕組みについて学び追及する。 ・ さまざまな音楽理論に取り組むことにより、個人の能力を向上させ将来に役立つ技術を習得する。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【				

教科	芸術	年次	3 年次	系列	
科目名	ビジュアルデザイン（単位数： 2 ）				
履修条件	特になし				
対象生徒	美術系大学、専門学校などに進学したい者 デザイン系への就職希望者				
学習目的	さまざまな作品を作る中で、デッサンや、デザインの基礎的知識や発展的要素を学ぶ また自己表現力を培う				
講義の割合					
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	鉛筆デッサン基礎	・ 鉛筆での細密描写をする。 デッサンの基礎知識を学ぶ。	鉛筆デッサン	
		自由選択課題① (小作品実習)	・ 様々な描画技法を学ぶ為に技法を 選択し、模写したり、一つ作品を制作す る	イラスト 模写 水彩画	
	2 学期	自由選択課題② (大作実習)	・ 自分のやりたい技法を中心にした 絵画、デザイン作品を制作する	水彩画 ネイルデザイン イラスト 油彩画	
3 学期	制作のまとめ	・ 1学期、2 学期で制作した作品を撮影 し、制作のあゆみをまとめる。	ポートフォリオ		
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	課題作品制作		課題作品制作	課題作品制作・プリント	
備考					

教科	外国語	年次	2 年次・3 年次	系列	
科目名	ディベート・ディスカッションⅠ（単位数：2）				
履修条件	2 年次で選択した者は 3 年次で履修できない				
対象生徒	英語を話すこと〔やり取り〕に興味がある生徒				
学習目的	高校 1 年生までで習得した基本的な語句や文法等を使って、さらに論理的に表現する実践的な力を身につける。また、様々な問題に対する立場の異なる意見を学ぶことで、多面的に物事を考える力を身につける。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	(問題演習) (グループ学習) フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード （一部抜粋）
	1 学期	Lesson1 Lesson2 Lesson3	宿題は禁止すべきか 学校でのスマートフォンは禁止すべきか 高校生はアルバイトを認められるべきか		while, for example in this way, however, therefore, from my point of view
	2 学期	Lesson4 Lesson5 Lesson6	国公立大学は無償化すべきか SNSでは実名を用いるべきか オンラインゲームは益よりも 害をもたらすか		the reason is that, thus, my idea is that, in sum, though
	3 学期	Lesson7 Lesson8	オンライン教育はオフライン教育よりも 良いか 日本の高校生は留学すべきか		I definitely believe that, first, to summarize, the main reason is that, in short
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	定期考査 小テスト		定期考査 提出物（内容） パフォーマンステスト		提出物（提出状況） パフォーマンステスト
備考					

教科	外国語	年次	3年次	系列	
科目名	ディベート・ディスカッションⅡ（単位数： 2 ）				
履修条件	ディベートディスカッションⅠを修得していること				
対象生徒	英語を話すこと〔やり取り〕に興味がある生徒				
学習目的	高校２年生までで習得した語句や文法等を使って、さらに論理的に表現する実践的な力を身につける。また、様々な問題に対する立場の異なる意見を学ぶことで、多面的に物事を考える力を身につける。				
講義の割合					
講義以外の 主な活動	(問題演習) (グループ学習) フィールドワーク 実習・実験 (レポート作成) その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	１学期	Lesson1 Lesson2 Lesson3	大学は秋に始まるべきか 才能ある生徒に飛び級を認めるべきか ビューティコンテストは禁止すべきか		to begin with in addition therefore, although from my point of view
	２学期	Lesson4 Lesson5 Lesson6	定年退職制は廃止すべきか 死刑は廃止すべきか 肥満税は導入されるべきか		for example, all in all while, this is why first of all in conclusion
	３学期	Lesson7 Lesson8	カジノは日本で許可されるべきか 日本は義務投票制を採用すべきか		I definitely believe that, next, overall however, first for this reason
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 提出物（内容）		定期考査 提出物（内容）	提出物（提出状況） スピーキングテスト	
備考					

教科	外国語	年次	2年次・3年次	系列	
科目名	エッセイライティングⅠ（単位数： 2 ）				
履修条件	2年次で選択した者は3年次で履修できない				
対象生徒	英語を書くことに興味のある生徒				
学習目的	高校1年生までで習得した基本的な語句や文法等を使って、さらに自分の意見や考えを理論的に書くための基礎力をつける。また、実用英語検定3級～準2級の問題にも取り組み、文法理解と英作文の力を実践的に身につけていく。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	Unit 1	イラストを描写しよう①	現在進行形	
		Unit 2	イラストを描写しよう②	助動詞	
		Unit 3	イラストを描写しよう③	感情を表す形容詞	
		Unit 4	自分のことばで意見を述べよう①	I think～	
		Unit 5	自分のことばで意見を述べよう②	I do not think～	
	2学期	Unit 6	図表・グラフを説明しよう	the number of～	
Unit 7		身近な話題について意見を書こう	パラグラフの型		
Unit 8		社会的な話題について意見を書こう	肯定、否定		
Unit 9		グラフを読み取り、意見を書こう	比較表現		
3学期	Challenge	70～90語の意見文にチャレンジ！	If you could use a time machine, ～？		
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 課題・レポート		定期考査 パフォーマンステスト	小テスト 提出物 パフォーマンステスト 授業態度	
備考					

教科	外国語	年次	2年次・3年次	系列	
科目名	エッセイライティングⅡ（単位数： 2 ）				
履修条件	エッセイライティングⅠを修得していること				
対象生徒	進学希望者・英語を書くことに興味のある生徒				
学習目的	高校2年生までで習得した基本的な語句や文法等を使って、さらに自分の意見や考えを理論的に書くための基礎力をつける。また、実用英語検定の問題にも取り組み、英語を用いて表現する力を実践的に身につけていく。				
講義の割合	◀ 少 ★ 多 ▶				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【ALTとの実践的活動】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1学期	様々な種類の題材を用いたライティング活動	・自分の意見の表明と理由 ・グラフの読み取り問題 ・イラスト描写問題		・英語特有の表現方法 ・論理的な英文 ・文法知識
	2学期	実践的な英語表現活動	・自分の意見と他者の意見の比較 ・身近な問題の分析 ・長めの英文による主張		・パラグラフの構成 ・ディスコースマーカー ・文法知識
	3学期	Challenge	・ライティング活動で作成した長めの英文の発表		・アウトプット活動 ・発表の方法 ・文法知識
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考查 小テスト		定期考查 レポート（英作文） パフォーマンステスト	提出物 授業態度 パフォーマンステスト	
備考					

教科	外国語	年次	3年次	系列	
科目名	Cross Culture (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	国内外の文化に興味・関心があり、プレゼンテーション能力を高めたい生徒				
学習目的	①様々な背景を持った外国人等から、自国の文化や日本との比較を聞き、探究することで、国際的な見地から物事を考えられる力を身につける。 ②国内外の外国人等との交流をとおして、自身の考え方に対する自己理解を深めると同時に価値観の違いを尊重する態度を育成する。				
講義の割合	少★多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク 実習・実験 <u>レポート作成</u> その他の特徴的な活動【 ALTによる英語活動 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	・日本と外国との文化を比較	・外国の文化について、新聞記事やインターネット等を用いて調べる ・英語の表現や語句を確認する ・調べた内容から、日本との共通点や相違点を捉える ・調べた内容を発表する	自文化と異文化 異文化理解	
	2学期	・外国人の方へのインタビュー ・わだやマーケットでの発表	・インタビューで使う英語の表現や語句を確認する ・インタビュー内容と調べた内容との共通点相違点を捉える ・探究した内容を「異文化図鑑」にまとめ発表する	インタビュー 異文化図鑑	
	3学期	探究内容の発信 (SNSなど)	・他国との文化の共通点や相違点をまとめて発表する ・学習内容をSNS等で発信する	自文化理解 多様性	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	小テスト レポート パフォーマンステスト		レポート パフォーマンステスト	提出課題 パフォーマンステスト 授業態度	
備考					

教科	外国語	年次	3 年次	系列	
科目名	英語de探究 (単位数： 3)				
履修条件	特になし				
対象生徒	様々な種類の英文の読解に興味・関心があり、その内容をまとめて発信する能力を高めたい生徒				
学習目的	① 新聞記事、ドラマ、映画、絵本等、様々な種類の英文に触れ、これまで身につけてきた読解力をさらに高め、得た情報を論理的にまとめて発信する力を身につける。 ② ペアワークやグループワークを通して、選んだ作品の紹介や朗読といった実践的なアウトプットを積極的に行い、その成果を発表会（わだやマーケット）等で発表し、他者に配慮しながら適切に情報や考えを主張できる力の育成を図る。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> フィールドワーク 実習・実験 <u>レポート作成</u> その他の特徴的な活動【 ALTによる英語活動 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	・ 様々な種類の英語を読む	・ 文芸作品等を鑑賞し、読解力や英語独特の表現方法を理解する ・ グループ学習により、作品の構成や表現等についてまとめる ・ まとめた内容を発表する	異文化理解 グループ学習	
	2 学期	・ 発表会に向けた題材の選定と発表内容の検討 ・ 総合学科発表会「わだやマーケット」での発表	・ 様々な種類の英文から発表会で発表する題材を選定し、用いられている英語の表現や語句を確認する ・ 発表内容と役割分担等を決定し、発表に向けて実践練習を行う	異文化理解 アウトプットの方法	
	3 学期	探究内容の発信（SNSなど）	・ 発表会の振り返り後、さらに発信の仕方や方法について検討する ・ 探究内容の集大成としてSNS等で発信する	異文化理解 アウトプットの方法	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	単元テスト レポート パフォーマンステスト		単元テスト 課題・レポート パフォーマンステスト	提出課題 パフォーマンステスト 授業態度	
備考					

教科	産業社会と人間	年次	1 年次	系列	
科目名	産業社会と人間（単位数： 2 ）				
履修条件	必履修科目				
対象生徒	1 年次全員				
学習目的	自己理解をし、働くことの意味や価値、学ぶことの大切さを知り、考える力を身につける。				
講義の割合	◀ 少★多 ▶				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 発表会・外部講師からの講話 など 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	社会参画力	働くこととは 仕事の決め方 社会とのつながり 進路適正検査 就職（進学）するには 科目選択ガイダンス キャリアトークカフェ 企業見学	職業の三要素 正規雇用と非正規雇用 賃金格差 退職金と福利厚生	
	2 学期	販売実習基礎	販売実習とは お金の大切さとコミュニケーション 接遇実践 マナー講習会 ロールプレイング	礼儀作法 販売実習 お金の取り扱い 接客	
	3 学期	自己表現	資料作成 効果的なプレゼンの方法 1 年間の振り返り まとめ 発表会	振り返り プレゼンテーション キーノート アウトプット	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	産社ノート 発表資料		産社ノート 振り返りシート プレゼンテーション	授業に臨む態度 プレゼンテーション	
備考	特になし				

教科	総合的な探究の時間	年次	2 年次	系列	
科目名	総合的な探究の時間（単位数： 2 ）				
履修条件	必修修科目				
対象生徒	2 年次全員				
学習目的	・課題の解決に向けたプロセスを計画し、目的に応じて準備することができる。 ・ある事象を分析し、目的や課題を明らかにすることができる。 ・自らの考えを論理的に表現することができる。 ・課題の発見や解決に向けて、主体的に考えて行動しようとする。 ・多様な意見を受け入れ尊重し、協働的に課題を解決しようとする。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【プレゼンや発表を行う】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1 学期	課題探究基礎	テーマ設定 調査活動 発表資料作成 年次発表会		探究 問い 発表
	2 学期	販売実習応用	販売実習とは 地元企業調べ 接客実践 マナー講習会 ロールプレイング		礼儀作法 販売実習 お金の取り扱い 接客
	3 学期	課題探究応用 次年度に向けて	朝来市の概況及び課題発見 次年度の計画策定 1 年間の振り返り		朝来市 探究 アウトプット
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	授業態度 学習シート 発表スライドなどの成果物		学習シート プレゼンテーション 発表スライドなどの成果物		授業態度 提出物 プレゼンテーション
備考	特になし				

教科	総合的な探究の時間	年次	3 年次	系列	
科目名	経済・経営学（単位数： 2 ）				
履修条件	必修修科目				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	駅前商店街の活性化をテーマにビジネスを展開し、ビジネスチャンスを模索する。ビジネスを通して、朝来市の玄関口である駅前の「にぎわい」やあるべき姿を考え、朝来市・地域・企業が一体となって経済を潤滑させ、高校生ビジネスの創造と起業を探究する。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> <u>フィールドワーク</u> 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 プレゼンテーション・発表 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	現状と課題 朝来市とビジネス ビジネスの起業 地域とビジネス	・「にぎわい」「活性化」とは ・商店街の現状➡フィールドワーク ・「ない」ことから「ある」を創造 ・朝来市とビジネス ・中小企業診断士講義	にぎわい 地域の活性化 新ビジネス 起業 事業計画書	
	2 学期	新ビジネスの立ち上げ 新ビジネスの課題 プレゼンテーション わだやマーケット準備	・駅前区長さん会合 ・模擬版令和の虎 ・プレゼンテーション（投資家） ・企業の立ち上げ準備 ・わだやマーケットでの発表	マーケティング戦略 SWOT分析 STP マーケティングミックス	
	3 学期	振り返り 発表準備 発表会 まとめ	・わだやマーケット振り返り ・わこうLab。発表準備 ・わこうLab。発表会 ・振り返り	実践まとめ 研究発表 新ビジネス 朝来市	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	3 観点を基に複数の目で行動観察等から評価をする。				
備考	・必要備品等を購入する場合に、学年費から徴収する。 ・フィールドワーク等にかかる交通費は、学年費または実費で徴収する。				

教科	総合的な探究の時間	年次	3年次	系列	
科目名	国際・文化・コミュニケーション学 (単位数： 2)				
履修条件	必修科目				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	朝来市に住む外国人を取り巻く現状について対話を通して学び、国際的な側面から地域が活性化するための方法をチームで協力して探る。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	現状と課題 考案と実践	・外国人を取り巻く現状を知る ・日本の中にある世界 ・外国人の話を知ろう ・市内で活躍する外国人の活動について調査	異文化 食文化 対話 多文化共生	
	2学期	考案と実践 わだやマーケット準備 わだやマーケット	・イベントを企画しよう ・わだやマーケットでの発表	食文化 地域とのつながり	
	3学期	発表準備 発表会 まとめ	・わだやマーケット振り返り ・わこうLab。発表準備 ・わこうLab。発表会 ・振り返り	実践まとめ 研究発表 多文化共生	
観点別評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	3観点を基に複数の目で行動観察等から評価をする。				
備考	・フィールドワーク等にかかる交通費は、実費で徴収する。				

教科	総合的な探究の時間	年次	3年次	系列	
科目名	自然・農学（単位数： 2 ）				
履修条件	必修修科目				
対象生徒	3年次選択者				
学習目的	地域の農業・林業の実態を知り、課題解決に向けた取り組みの探求を通して、チームで協力して取り組む姿勢や、判断力・表現力・発信力・積極性・探究心を育む。また、朝来市（中山間地帯）の抱える重要な問題解決に貢献する。				
講義の割合	少★多				
講義以外の主な活動	問題演習 <u>グループ学習</u> <u>フィールドワーク</u> 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 プレゼンテーション・発表 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容		キーワード (一部抜粋)
	1学期	農業・林業の現状と課題 考案と実践	・朝来市の山林・田畑について ➡講話・フィールドワーク ・養父市国家戦略特区の事例検証		遊休耕作地 有害鳥獣被害 人口減少・高齢化
	2学期	考案と実践 わだやマーケット準備	・地域活性化に向けて ・六次産業化・IT化 ➡資源の有効活用・PR法の考察 ・フィールドワーク（朝来市・豊岡市） ・わだやマーケットでの発表		地域資源 スマート農業 付加価値
	3学期	振り返り 発表準備 発表会 まとめ	・わだやマーケット振り返り ・わこうLab。発表準備 ・わこうLab。発表会 ・振り返り		実践まとめ 研究発表
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	・3観点を基に、複数の目で行動・提出物などから評価をする。				
備考	・必要物品等の購入は、学年費から徴収する。 ・フィールドワーク等にかかる交通費は、学年費または実費で徴収する。				

教科	総合的な探究の時間	年次	3 年次	系列	
科目名	地域観光学（単位数： 2 ）				
履修条件	必履修科目				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	朝来市の観光業を盛り上げるにはどうすれば良いか探究する中で、自ら課題を発見し、課題解決に向けてチームで協力して取り組む姿勢や、判断力・表現力・発信力・積極性・探究心を育む。				
講義の割合	◀ 少 ★ 多 ▶				
講義以外の 主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 プレゼンテーション・発表 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	現状と課題 考案と実践	・ 朝来市の観光について ・ フィールドワーク (アウトドアビレッジ) ・ フィールドワーク (竹田城跡①)	エコツーリズム	
	2 学期	考案と実践 わだやマーケット準備	・ 高校生マニアックマップ作製 ・ 朝来市のPR法の考察 ・ フィールドワーク (竹田城跡②) ・ わだやマーケットでの発表	聞き込み調査 アンケート調査 実践発表	
	3 学期	発表準備 発表会 まとめ	・ わだやマーケット振り返り ・ わこうLab。発表準備 ・ わこうLab。発表会 ・ 振り返り	実践まとめ 研究発表	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	3 観点を基に、複数の目で行動・提出物などから評価をする。				
備考	・ 必要備品等を購入する場合に、学年費から徴収する。 ・ フィールドワーク等にかかる交通費は、学年費または実費で徴収する。				

教科	総合的な探究の時間	年次	3 年次	系列	
科目名	防災安全学（単位数： 2 ）				
履修条件	必履修科目				
対象生徒	3 年次選択者				
学習目的	地元朝来市の防災安全について知り、過去に起こった阪神淡路大震災について学び、未来の南海トラフ地震に備えることを目標に防災安全の視点から自ら課題を発見し、課題解決に向けてチームで協力して取り組む姿勢や、判断力・表現力・発信力・積極性・探究心を育む。				
講義の割合	少 ★ 多				
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 プレゼンテーション・発表 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1 学期	朝来を知る 阪神淡路大震災を学ぶ	・朝来市の防災安全について ・フィールドワーク①（朝来市防災倉庫） ・動画学習 ・フィールドワーク②（北淡震災記念公園）	朝来市ハザードマップ マイ避難カード 北淡震災記念公園	
	2 学期	阪神淡路大震災を学ぶ 南海トラフ地震に備える	・阪神淡路大震災について ・南海トラフ地震について	阪神淡路大震災 南海トラフ地震	
	3 学期	発表準備 発表会 まとめ	・わだやマーケット振り返り ・わこうLab。発表準備 ・わこうLab。発表会 ・振り返り	実践まとめ 研究発表	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	3 観点を基に、複数の目で行動・提出物などから評価をする。				
備考	・必要備品等を購入する場合に、学年費から徴収する。 ・フィールドワーク等にかかる交通費は、学年費または実費で徴収する。				